



スカウトキャラバン全国大会 2013.02 (北九州 / 穴生ドーム)

平成25年度 総会報告



平成25年6月18日(火)、協会会議室にて平成25年度社員総会が予定通り開催されました。

総会は会員総数1,466名のうち771(委任状出席含む)の出席により適法に成立し、定款の規定に基づき佐藤直子理事長が議長となり挨拶、議事録署名者の選出後、ご逝去されたUSPTA元CEOティム・ヘックラー氏・会員4名・日本テニス事業協会会長 雑賀昇氏のご冥福をお祈りし黙祷が行われた後、議案の審議に入りました。

1号議案 平成24年度事業報告及び決算報告について

総会資料に基づいて説明がなされ、鈴木監事より、監査の結果、当協会の会計及び業務内容は正しくなされていると報告があり可決承認されました。

2号議案 平成25年度事業計画及び予算案について

総会資料に基づいて説明がなされ、可決承認されました。

3号議案 平成25、26年度役員及び会長並びに副会長選任について

総会資料に基づいて平成25・26年度役員候補として説明がなされ可決承認されました。

【理事】

佐藤直子、田村賢司、内田龍之、富岡信也、檜垣泰章、山本育史、辻野隆三、平田竹男、佐々章、千野時晴、余語敏彦、白戸仁、吉田信之、安川裕也、平沢潤、金丸由紀、荒井英樹、坂井利彰

【監事】

鈴木 継一

【会長】

森 章(森トラスト株式会社代表取締役社長)

【副会長】

増田 宗昭
(カルチュアコンビニエンス・クラブ株式会社代表取締役社長兼CEO)

渡辺 功(元理事長)



4号議案 定款第5条第1項におけるランキング名称の変更について

総会資料に基づいて説明がなされ、可決承認されました。

5号議案 役員報酬規程における支払い方法の変更について

総会資料に基づいて説明がなされ可決承認されました。

最後に会員からの質問・意見・要望などが出され質疑応答後、平成25年度社員総会は閉会いたしました。

CONTENTS

- 1 - 平成25年度 総会報告
- 2 - 新理事就任のご挨拶
- 4 - 「時の人」山瀬 功氏
- 8 - 技術指導「技術論」
- 12 - 技術指導「指導論」
- 14 - USPTA news
- 16 - プロプレイヤーインタビュー
日比野 菜緒プロ
- 17 - テニスの日告知
- 18 - ジュニア全国大会報告
- 19 - ロス遠征報告
- 20 - 北九州表敬訪問 / ジュニア予定
- 21 - NGT地区大会案内
- 22 - 能登国際女子オープンテニス情報
- 24 - 資質向上委員会報告 / 地区会開催報告
- 25 - JPTAストリートテニスキャラバン
- 26 - 地区長幹事紹介
- 28 - 会員人物紹介 /
JPTAホームページのご案内
- 30 - プロテスト・UPテスト昇級者 /
資格認定・研修スケジュール
- 31 - 新入会員挨拶
- 32 - 会員サービス委員会からお知らせ
- 33 - コンベンション2013案内 / 事務局だより
- 34 - JPTA HOTNEWS登録のご案内 /
MIXI登録申請について /
ホームページ求人広告受付
- 35 - 平成25・26年度 JPTA役員・組織図
- 36 - 公認推薦賛助企業 / 編集後記

平成25年・26年度

●● 新理事就任のご挨拶 ●●

※組織図はP35に掲載しておりますのでご覧ください。

理事長 佐藤 直子



理事長に就任して2期目を迎えます。

テニス界の先輩たちが設立してくださったこの日本プロテニス協会が昨年40周年を迎え、新しい一歩を踏み出し会員の皆様をはじめ執行部、事務局員も力を合わせて活発な活動をし、テニスを愛する人々の笑顔が絶えない協会を目指していききたいと思います。

私は第1期の2年間、森会長のご厚意もあり、事務局を御殿山ヒルズに移転し、事務局を刷新し、全豪オープンCEOと友好関係を築き、能登国際の安定運営、新役員披露パーティーを開いてJPTAの存在を日本テニス界に示すことができ、また各企業様からの協賛金のご協力のお願いを致しました。これからの2年間では、プレーヤー委員会を新しい委員会として作り、プロ選手の活用に力を入れ、プロコーチに関しては外国人有名選手のコーチを招いてのセミナーを頻繁に行い、新しい資格も検討します。これからもJPTAの国際交流にも力を入れ、アメリカだけでなく、アジア、ヨーロッパの国々との良好な関係を構築することも、私に出来る仕事だと思います。会員の皆さまと力を合わせて、会員の皆さまに喜ばれる協会を作るのが私の使命と心得ています。

テニス界の先輩達が設立してくださったこの日本プロテニス協会を今後ともより多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

副理事長 田村 賢司



■担当: 倫理委員会 委員長

この度、副理事長に任命をされました。副理事長として長年、歴代の理事長を補佐してまいりましたが、その責務の重大さを改めて心に刻み、心を新たにに取り組んでまいります。

プロテニス協会の使命を達成していくために、会員がプロとしての誇りを持ち、かけがえのない大切な時間と人生を豊かに過ごすことができるように尽くしていきたいと思います。

副理事長 内田 龍之



■担当: 新規企画委員会 副委員長

佐藤理事長の要請により引き続き理事という大役を引き受けさせていただく事になりました。

8年間微力ながらJPTAの発展に努力してきたつもりですが、更に会員の為の素晴らしい組織にするために力を注いでいくつもりです。

至らぬ点は多々あると思いますが、今まで以上に会員サービス等に力を入れ、更なる発展に寄与していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

専務理事 富岡 信也



■担当: 組織運営事業部 部長
資格認定・研修事業部 副部長
地区会委員会 委員長
安全管理委員会 副委員長

前期に引き続き専務理事、又併せて新規に組織運営事業部の統括も引き受けさせて頂きました。創設から40年余りが経ちJPTAは日本を代表するプロのテニス団体として組織全体改革、資格システムの進化等、構造変革を迫られていると考えています。

担当の地区会委員会はこれからのJPTAにとって重要です。目標は「地区中心の活動」です。まずは地区単位で会員の交流の場を増やし、協会との連携を強くしていきたいと思っています。また安全管理委員会では、レッスンでのトラブルを少なくする為に講習会を全国で開催出来るよう企画していきます。そして万が一の事故に対する国内最強の「JPTAスクール共済制度」を普及させていきます。

今期も公認・推薦・賛助企業、賛助会員の皆様、そして全国のJPTA会員の皆様にはご指導、ご協力を心よりお願いいたします。

常務理事 檜垣 泰章



■担当: 広報・企画推進事業部 部長
オフィシャルスクール・後援委員会委員長

協会が40年の年月を経て、今日を迎えられたことは、創設以来ご尽力いただいた先輩方のおかげで、テニスコーチの仕事が社会的にも認められ、こうして当たり前のように生業として日々励むことができることに改めて感謝の意を表します。残念なのは、協会が指導者の領域を確立するにあたって欠かすことの出来ないUSPTAのCEOを務められたティム・ヘックラー氏の訃報に接したことです。その思いの中、会員が1500名を超え、さらに飛躍を望まれる今日、役員として就任したことは、今まで以上に責務を感じております。また、広報・企画推進事業部を担当することになり、会員の皆様への情報発信をつぶさにして、協会と密接な関係を築き、より高い活躍の場を提供していきます。

常務理事 山本 育史



■担当: 資格認定・研修事業部 部長
育成・普及事業部 副部長
資質向上委員会 委員長

この度、常務理事に就任させていただく山本育史です。全国各地でイベント・テニス教室を通じて多くの方々からたくさんの元気をいただきました。特に子供たちとテニスコートで過ごす時間は本当に貴重であり、かけがえのない大切な時間でした。

私が最も得意とするテニスを最大限に活用して、資格認定・研修事業部長としてまた、未来ある子供たちの夢と希望を閉ざさないように育成・普及事業部副部長としてこの2年間全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

常務理事 辻野 隆三



■担当: 育成・普及事業部 部長
組織運営事業部 副部長
広報・企画推進事業部 副部長
国際・国内大会委員会 委員長
公認・推薦・賛助委員会 委員長

今期初めて常務理事に就任させていただく事となりました、辻野隆三です。

日本プロテニス協会の常務理事という大役は、私自身にとってだけでなく日本のテニス界の方々にとっても、とても大きな職務ですので今、心の中は身の引き締まる気持ちで一杯です。

今後は会員の皆さま、プロテニス協会、そして日本のテニス界の為、色々な活動を通し、私の出来る限りのことを精一杯努力させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

常務理事 平田 竹男



■担当: 新規企画委員会 副委員長

(公財)日本サッカー協会専務理事時代に手掛けたなでしこジャパン誕生など女子サッカーのプロモーション、また現職、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科教授として、トップスポーツビジネスの研究指導をJPTAの活動のお役にたてれば光栄です。

理事 佐々 章

■担当: ワークショップ委員会 委員長
新資格検討委員会 委員長
安全管理委員会 委員長



この度、理事に就任させて頂く事になりました、佐々 章です。人生の大半を「テニス」と共にあゆみ、そして多くの時間をJPTAと共に過ごしました。現在も現役としてテニスビジネスに身を置いている私が、一番大切にしていることはJPTA会員であることです。

資格も価値のある要素であることには違いありませんが、JPTAをテニスプロが一生の仕事の、よりどころに思うには、制度、システムを今、もう一度原点から見直しテニスのブランドはJPTAであることの誇りを持てるように、その実現に理事として取り組んでいきたいと思っています。

理事 安川 裕也

■担当: テニスの日委員会 委員長



今期、理事を務めさせて頂きます安川と申します。前期は「コンベンション」と「テニスの日」を担当させて頂きました。今期も引き続き「テニスの日」を担当させて頂きます。新任の理事や他の理事の方と協力して、皆さんに愛されるプロ協会にしていけたらいいなと思っています。

協会の役割は、テニス業界とテニスファンの皆様の掛け渡しであり、質の高いテニス文化の創造が最終的な使命です。会員の皆様にもご協力のほどよろしくお願い致します。微力ながら今期も理事として頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

理事 千野 時晴

■担当: 資質向上委員会 副委員長
テニスの日委員会 副委員長



この度、理事選において、幸運にも当選させて頂き、誠にありがとうございます。

私に投票していただいたメンバーの方々のためにも、理事としては新米ではありますが、実社会での会社経営の経験を生かし、この2年間の想い存分、全力で取り組んで参ります。

まずは、入ってよかった日本プロテニス協会のために、資質向上委員会でセミナーの充実を図っていきます。次に、プロテニス協会でするテニスの普及の活動をしていきます。

その中で、プロとは何か考えていきます。世界に通用する選手を育てるのもプロ。テニスというスポーツを広げ育てるのもプロ。テニスを通してテニスをされる方々の人生を豊かにできるのもプロ。テニスを事業として経営していけるのもプロ。そのための環境づくりを日本プロテニス協会の組織の中で活動していき、テニスプロとしてのステータスを上げられればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

理事 平沢 潤

■担当: 育成・普及事業部 副部長
海外特派員



JPTAが会員の皆様に、より魅力ある協会となる様に育成・普及事業部の活動を精一杯努めて参ります。

また、アメリカ在住を生かしJPTAジュニア海外遠征への協力、海外大会やテニスに関する情報収集、USPTAとの関係強化、相互理解の向上を図ると共に、将来に向けて他のテニス先進国協会との新たな事業提携等を模索し、グローバルな会員サービスに寄与出来る様、努力します。

理事 金丸 由紀

■担当: 広報委員会 委員長
コンベンション委員会 委員長



私は、ジュニア委員会委員を経て、その後ジュニア委員会・資質向上委員会・広報委員会・地区会委員会の各副委員長を務めさせて頂き、前期より広報委員会委員長に着任いたしました。

その間、理事会や各委員会では本当にさまざまな事を話し合い審議してきましたが、その思いと温度を会員の皆さまに伝える事のむずかしさを痛感して参りました。

今期は、各委員会の活動に多くの会員が参加できるシステムと機会を作ることで「所属している実感と手応え」のあるJPTAにして行きたい、そしてその情報を会員間で共有する為に広報委員会で行いたいことを探し、実行していきたいと思っています。

理事 余語 敏彦

■担当: 資格認定・研修事業部 副部長
資格認定講習委員会 委員長
プロテスト委員会 副委員長



この度資格認定・研修事業部の副部長と資格認定講習委員会の委員長に任命されました。協会理事として3期目を迎え、其の間ずっとプロテストと講習会に携わってきました。今回、事業部長に山本育史常務理事が就任される事になりそのサポートをしつかりとしたいと思います。また次のテスター及び講習会講師の育成にも尽力して行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

理事 白戸 仁

■担当: 資質向上委員会 副委員長



今期も理事としてプロ協会のためにお手伝いできることになりました。

今回は副委員長として山本委員長、千野副委員長、八島副委員長、そして各地区の委員の方達とコーチとしての資質を上げていくお手伝いをしていきたいと思っています。

今年こそ、全国的に活動を行いたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

理事 荒井 英樹

■担当: ジュニア育成委員会 副委員長
公認・推薦・賛助委員会 副委員長



この度、皆様のお力添えで、理事という大役に就任させて頂く事になりました荒井英樹です。理事としてのお仕事は何もわかりませんが、一會員として、やれることを精一杯、全力で、自分らしく務めさせて頂きたいと思っています。

力不足の点は多々あると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

理事 吉田 信之

■担当: プロテスト委員会 委員長
会員サービス委員会 委員長
資格認定講習委員会 副委員長



この度、推薦を受け理事に就任させて頂きました、吉田信之です。

これまで、テスターとして資格認定業務のお手伝いをさせて頂きましたが、テニス界の発展のためには、その指導者が果たす役割が非常に大きいと痛感しております。今後は、理事としてプロ協会の皆様と一緒に、誇れるプロテニスコーチ集団を築き上げ、日本テニス界発展のために貢献できればと考えております。2年間、全力で取り組んで参ります。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

理事 坂井 利彰

■担当: 国際・国内大会委員会 副委員長
プレイヤー委員会 副委員長



この度、推薦理事という形で新理事に就任させて頂きたくことになりました、坂井利彰です。日本プロテニス協会理事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。会員の皆様、日本プロテニス協会、日本テニス界のために、選手、指導者、大学での研究活動を含めた経験を最大限生かして、全力を尽くす所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

「時^{とき}の^{ひと}人」

山瀬 功氏
Isao Yamase

「時の人」では、テニス界のみならず、様々な分野で活躍されている方にお話を伺い、視野を広げてテニス界を盛り上げるヒントをみつけていきたいと思います。

第6回目は、バイアスロン選手として、サラエボ冬季オリンピックに出場、長野オリンピックでは日本代表のコーチを務めていらっしゃいました山瀬 功様に北海道地区佐藤雅規地区長（インタビュー当時）がお話を伺いました。



日本バイアスロン連盟事務局にてインタビューをさせていただきました。

（佐藤地区長） 今回JPTA会員会報誌「時の人」のコーナーで、冬季オリンピック種目であるバイアスロンチームを紹介させていただきたくお話を伺いすることになりました。よろしくお願いいたします。

（山瀬さん） この度は、バイアスロン競技に注目していただき大変ありがとうございます。

当連盟は、近代五種バイアスロン連合から分離して、3年目の若い連盟です。連盟組織としては、まだまだ十分な機能を果たしていない状況ですが、札幌市に事務局を構えて日々活動しております。なかなかメディアに出る機会の少ない競技ですが、競技と連盟の現状等をお伝えできればと思います。

連盟での私の肩書はジュニア担当コーチですが、競技人口が少なく集めるのが大変で、現在は直接ナショナルチームを指導するのではなく、主に競技人口を増やす為の普及活動に力を入れています。

（佐藤地区長） 北海道エリアのジュニア担当コーチということですか？

（山瀬さん） 日本の、ですね。本拠地はここ（札幌）なので、北海道を中心として活動をしています。

（佐藤地区長） トップの競技者のほとんどは北海道の選手なのでしょうか。

（山瀬さん） 北海道とは限らず、新潟や東北にも選手はおりますが、銃を扱うので選手層が限定されてしまい現在も自衛官が中心です。

（佐藤地区長） ジュニアとは何歳くらいからが対象となるのでしょうか。

（山瀬さん） 今参加してもらっている子供たちは小学校低学年から大学生までと年齢の幅は広いですが、ジュニアの競技者数は極端に少ないです。

スキー人口そのものが少なく、札幌でもクロスカントリーをやる人は数えるほどしかいません。本当はスキーの選手を目指してもらうことが一番で、まずはスキー自体に興味を持ってもらい、将来的に幅を広げてもらえると嬉しいですね。

（佐藤地区長） 実際に小学生の子供たちがバイアスロンを始めるきっかけは、やはり親がやっているからという理由が多いですか？

（山瀬さん） そうではないようです。以前、ミニバイアスロンとして子供でも撃てるビービー弾を使い普及活動をしていたことが大きいようです。totoの助成金をもらいながら、とりあえず今は北海道を中心に年に4～5回大会を開催しています。イベント等で要請があればそこで射撃のコーナーを設けて普及活動をしています。

（佐藤地区長） 「走って」「止まって」「立って撃って」、的に当らなかつ

たらペナルティーという形でまた走り、次は「伏せて撃つ」という競技のようですが、スキーで走るのとはうまく、銃を扱って打つ練習は子供達には難しいですね。

最近ではレーザー銃を使って練習をしていると伺いましたが？

（山瀬さん） 10台ほど購入して今、ユニバシアード選手の育成強化、ミニバイアスロン大会を開催しながら子供達の普及活動に使用しています。大人になってから始めると、まず頭で先に考えてしまうので、当てるまでの動作に大きな抵抗を感じてしまいます。頭の柔軟な子供のうちに狙う要領と、どのタイミングで引き金を引いたら当たるのか、小さいうちから感覚と射撃技術を教えたいと思っています。

（佐藤地区長） 競技年齢は高いのでしょうか？

（山瀬さん） 世界のメダリストには多くの30代選手がいます。これまでの経験と技術が円熟して来るからだと思います。

バイアスロンの人気について

（山瀬さん） ナショナルチームのコーチをしていた時、イタリアで合宿を行っていました。バイアスロンはヨーロッパでは人気があり、スポーツ専用チャンネルで放映されたり、生放送もあります。あちらでは小学生の大会もあるんですよ。

（佐藤地区長） バイアスロンはヨーロッパが発祥でしたよね。歴史もあり、今度のソチ（オリンピック）でも人気があるのでしょうか。

（山瀬さん） 最近特にバイアスロンが人気です。冬季の競技の中では1・2番を争うほど人気があります。

（佐藤地区長） 日本では現状、自衛官が多いですが、ヨーロッパの選手はどのような職業の方が多いのでしょうか。

（山瀬さん） ヨーロッパでも選手は軍人が多く、国境警備隊に所属している人、銃に携わる仕事の人が多いですよ。どういう形なのかは不明ですが、スポーツインストラクターも多いです。あとは、プロとして競技を行っている人も少しいます。

ワールドカップで優勝すると賞金は70万位だと思いましたが、共産圏の人になると大きな金額ですからね。





(佐藤地区長) ノルディック複合の「ジャンプ」と「距離」は「月の王様」と呼ばれているといいますが、バイアスロンはひとつの競技の中に「走る」と「撃つ」の全く異なる種目が2つあるという事ですよね。

(山瀬さん) そうですね。「静」と「動」で全く違う動きをしますからね。

(佐藤地区長) そこに興味があります。

その為のバイアスロン独自のトレーニング法はありますか？

(山瀬さん) インターバルトレーニングを繰り返すことで体に覚えさせることですね。

(佐藤地区長) 選手たちは今まで距離スキーをやっていた方を中心に構成されていますか？

(山瀬さん) 現在はそうです。これからは違う分野の競技の方にも興味を持ってもらい、能力がある人に参加してもらえるようにしたいと思っています。

(佐藤地区長) ボブスレーには陸上の砲丸投げから転向した選手がいますね。また、一般的に男の子はピストルを撃つということに、かなり惹かれるところがあると思います。実際にはお祭りでの射撃体験ぐらいですが…。

(山瀬さん) そういうイベントを多く開催して底辺を広げるとい事が今、大事だと思います。

(佐藤地区長) 先程おっしゃっていたミニバイアスロンは、走ることはやらないのでしょうか。

(山瀬さん) 年齢等に応じて距離を変えて、夏は距離スキーをランニングで行った後、射撃をしています。冬は倶知安で実際にスキーを履いて大会をしています。

今後は子供たちに興味を持ってもらえるように、様々な形で工夫をしたいと思っています。「静」と「動」の組み合わせで射撃をする点では、例えば小学生であれば一輪車で距離を走って射撃をする方法もあると思います。

(佐藤地区長) 競技としては、例えば距離スキーのタイムが世界一の選手が付け焼刃で半年間射撃の練習を集中して行えば優勝できるという簡単なものではないのでしょうか。

(山瀬さん) そうはいかないと思います。全力で走った後にピタッと止まって撃ち終ってまた走り出すまで世界のトップクラスは30秒ちょっとです。その間に全部の的を撃ち抜くには、かなり高い能力が要求されます。1発外すとペナルティーは距離にして150m位になりますから、どんなに早い選手でも走って挽回できるのには限界があると思います。



バイアスロンの選手の中にはオリンピックのクロスカントリーの選手も多く、その中にはバイアスロンで金メダルを何個も取っていてクロスカントリーでもメダルを取るケースもありますが、距離のタイムだけではやはり難しいと思います。

(佐藤地区長) やはり「静」と「動」というのがポイントで、そういう意味ではとても珍しい他にあまりないスポーツですよね。そして、テニスもそうですが、テレビでなかなか取り上げてもらえにくいスポーツですね。テニスの場合は、時間が読めない事が原因の一つです。サッカーのように時間の制限がなく、

テニスは1セット20分で終わることもあれば2時間かかる場合もありますし、録画で編集しないと枠の中に納まらない事があります。バイアスロンはどうでしょうか。

(山瀬さん) 大きくは、すれないと思います。例えば10キロの距離だとすれば、走るのが25分程で、射撃を入れても27～28分。但し、スタートするのにタイム差が生じ、1時間程かかるのでトータルでは2時間くらいになると思います。

でも、今はテレビの放映に合わせて競技の内容が少しずつ変化していて、レベルの高い選手しか参加できなくなってきました。あまりにも極端に競技の時間が遅い選手は出場すらできなくなっています。テレビ放映ではテニスも決勝しか放映されないことが多いですね。

(佐藤地区長) ゴルフは石川遼君でゴルフ熱にさらに火が付いて人気が出ましたし、テニスは錦織圭君が出てきてコマーシャルでの露出も多い。やはりトップ選手を出すことで目にする機会が増えれば子供たちが「僕もああなってみたいな」という目標を持つ。それが普及と子供たちの「夢」につながると思いますね。

普及について

(佐藤地区長) 今から35年前、札幌には「テニススクール」がなく、私も立ち上げメンバーでした。今では昔と比べるとテニスも人気が出てきましたが、昔はテニスラケットが高く競技する人は限られていました。普及イベントとしては今から15年以上前、「札幌ファクトリーアトリウム」で約5年間、テーブルで作ったテニスコートもどきを使って、ストリートテニスを行いました。その時には、〇×クイズや体験コーナーとしてラケットの代わりにフライパンやほうきを使ったり、ストラックアウト等でイベントを行いました。

(山瀬さん) 最初はやはり大変ですね。

(佐藤地区長) その後、3年程前にも「すすきの」の交差点でストリートテニスを開催しました。ストリートテニスは、今では全国的にいたるところで行われていますが、札幌はスタートが早かったと思います。

(山瀬さん) 昨年NHKさんのイベントとして2回ほど大通りで銃を撃つ体験イベントを開催しました。走る方は場所がなくできませんでしたが、皆さん通りすがりで興味を持って見てくれました。

まずは知ってもらう事から始めないと難しいですね。バイアスロンは（競技内容を）知っている人を数えた方が早いからです。

(佐藤地区長) そうですね。（競技）そのもの自体を知らない人の方が多いのかもしれないですね。

(佐藤地区長) 以前、「テニスの王子様」というのがテレビで放映されて、大ヒットしました。その影響でテニススクールの生徒は男の子だらけで定員オーバーになったんです。格好もみんな真似をしていました。やはりテレビの影響は大きいですね。

「テニスの王子様」世代の中からきっと何人か、良い選手が出たとは思いますが、もちろん、同時にナショナルチームの指導者の方々にも普及のお手伝いをさせていただきました。

(山瀬さん) テニスは組織的に指導に携わっている人が全国に相当な数がいらっしますよね。バイアスロンはやはり小さな所帯で2～3人で全部こなしている状態なので、なかなか細部に手が回りません。レベルによって指導にも工夫が必要だと思うのですが。

(佐藤地区長) 例えばテニスのゲームは、サーブを決められたエリアに打ち込むことからゲームが始まりますが、始めたばかりではなかなかサーブが入らず失点ばかりしてしまうので、つまらなくなってしまう

います。ですから、サーブの代わりにコーチが横から球出しをするなど、「試合が面白くなるように」と色々工夫してきました。

(山瀬さん) それは全国的に共通でおこなっているものでしょうか？

(佐藤地区長) 統一の規定はないですが、全国各地、個々のスクールで工夫はしていたと思います。

また、現在多くの競技団体が「〇〇の日」を設けていますが、テニスも毎年9月23日を「テニスの日」とし、本年度で16年目を迎えます。メインイベントは東京の有明のコートで行い、また、全国各地でイベントを開催しています。札幌では中島公園（札幌テニス協会の場所）で行っており、親子教室などの普及活動もあります。語呂合わせで日程を制定する競技団体もありますよね。

バイアスロンも“バイアスロンの日”を制定してみたいかでしょうか。

(山瀬さん) ぜひアイデアをいただきたいですね。

(佐藤地区長) ひとつの競技単体で普及イベントを行うよりも、いくつかの競技団体が手を取り合ってイベントを開催する方が、メリットはありますよね。いくつかのスポーツ連盟が日程の調整・協力して色々なスポーツを体験できるイベントが必要なのかなと思います。

(山瀬さん) そうですね。人も集まりやすいですしね。9月に総合イベントがあるので、今年はバイアスロンも参加して、出来るだけ多くの方に体験してもらおうと考えています。また、バイアスロン協会だけでは呼びかけてもなかなか集客できないので、今学連に協力をお願いしています。やはりこの競技を知らない学生もいましたが、昨年も他の競技の合宿所に行って体験の声掛けをしたら、「面白い」と言ってやり始める学生もいました。イタリアで開催される大会に向けて、これからはユニバー（大学生）を対象に力を入れたいと思っています。

ご家族とスポーツについて

(佐藤地区長) 山瀬さん、テニスはご存じですか？

(山瀬さん) 観るだけですが…。妻は趣味でテニスをやっていて、結構長く続けているので楽しいのでしょうね。

(佐藤地区長) 実は、私が代表を務めているテニススクールに奥様が通われているんです。このインタビューの聞き手役の依頼が来た時に世の中は狭いなと思いました。

(山瀬さん) そうなんですね!!なぜ一生懸命続けているのかを知りたくて時間がある時に江別・野幌あたりに観に行くことがあります。

(佐藤地区長) 私は職業柄、他のスポーツにも興味があり、良く観るので、山瀬さんのお名前は存じ上げていました。また、息子さんの功治さんは京都サンガFCで、その弟の幸宏さんはカタール・富山で活躍されてますよね。私の子供達はテニスをしませんでした。山瀬さんの息子さん達もバイアスロンには興味を持たなかったのでしょうか。



(山瀬さん) 長男は5歳からサッカーをやっていたのであまりスキーには興味を持ちませんでした。次男も兄の影響でサッカーを始めました。家の中にいると騒がしいので何かスポーツをやらせたいと思いました。すると、家の前に札幌サッカースクールのバスが止まることに気付き電話をかけてお世話になる事にしました。その時ブラジル人のコーチが3人いたのですが、それが良かったのだと思います。

長男は小学校を卒業してすぐにブラジルに2年半行かせました。私自身がスキーで世界を転戦していたので、一流の所で見て自分で感えることが大事だと当時は思いましたが、今考えるとよく冒険したなあと思います。

大会開催についてと今後への課題

(佐藤地区長) 札幌ではバイアスロンの大きな大会・全日本選手権や国際大会等は定期的に開催されているのでしょうか。

(山瀬さん) 札幌では毎年、宮様スキー大会国際競技会と日本選手権大会が実施されています。又アジア大会、アジア選手権大会も実施されます。2017年にはアジア大会が開催されます。

(佐藤地区長) 今回山瀬さんにお話を伺ったのでは是非観に行きたいと思うのですが、我々が気軽に観戦できるのでしょうか。

(山瀬さん) 来ていただく分には問題はありませんが、会場が自衛隊の射場ですから分かりにくいです。冬の雪の中、番地だけでたどり着くのは難しいですね。

(佐藤地区長) つまり日本では、まだ身近で見るスポーツではないという感じですか？世界選手権等をみているとお客さんが来場されて観戦されていますね。

(山瀬さん) 何万人も入っていますよね。クロスカントリーの大会等ではかなりお客さんが入っていて、寒い中で応援していますが、日本ではそういう習慣がありません。

(佐藤地区長) ジャンプは結構ファンが観に行くイメージがありますよね。

(山瀬さん) 走る競技と比べるとジャンプは華やかですよ。走る競技は会場にいても競技の一部分しか観ることが出来ないの、面白くないんですよ。それを考えるとマラソンはすごいですよ。一瞬しか（選手を）見られないですが、沿道に応援がいますよね。海外ではバイアスロンの人気はすごいですよ。バイアスロンは必ず3回同じところを通るので、会場がコンパクトになり、昔に比べて観やすくなっています。

(佐藤地区長) テニスの国際大会を札幌で8年前から毎年開催しており、今年は6月23日より中島公園で開催します。以前とは異なり、テニスは完全に「観るスポーツ」から「自分たちがやるスポーツ」に変わってしまいましたので、大会開始当初は一般プレイヤーから、自分たちのコートが使えなくなることで、反対意見や苦情もあり、苦労しました。以前と比べて決勝戦の前に北海道の強化選手たちのお披露目練習会を行うなど選手とふれあいの機会を作りました。また、それ以外にも普及のイベントや趣向を凝らしたイベントを増やしたことで、以前はお気に入りの選手の試合だけが目当ての観客がいる程度でしたが、今では徐々に観戦者も増えてきました。

札幌で国際大会を行う事で、テニスコートの場所を把握してもらい、それがテニスを始めるきっかけになる方もいます。

(山瀬さん) レベルの高いアスリートが来ると観たくなりますね!

(佐藤地区長) まず「音」が違いますよね。テニスの場合は賞金も重要ですが、ランキングはポイント制なのでポイントを稼ごうとする選手が多いです。日本で開催される国際大会は全部で10大会となり、その一つが札幌大会です。国際大会を開催する回数は、世界のランキングに直結している気がします。

(山瀬さん) 日本で大きな大会があるのは良いですね。バイアスロンも強い国ほど国内での大会が沢山あります。バイアスロンのランキングも同様で、大会に出て上位の選手にポイントが付くというシステムです。バイアスロンも一気にワールドカップに出られるわけではなく、その前にIBUカップ(INTERNATIONAL BIATHLON UNION)という大会に参加しタイムをクリアしないと出場できません。

(佐藤地区長) フルシーズン、ヨーロッパを転戦される選手はいらっしゃるのでしょうか？

(山瀬さん) なるべくなら、そうさせたいところですが、実際には夏合宿を行い、基本的に転戦開始はシーズン初めの10月初旬からですね。小さな連盟なので、予算がないのがやはり一番辛いです。

実は、連盟2年目の昨年、ユニバーを立ち上げ合宿を4回行いました。知っている選手の寄せ集めですが、みんな続けてくれているので将来が楽しみです。しかし、先程、JOCから、日本の枠は男子1名女子1名に決まったとの連絡が来たので落胆しています。まだ世界との距離は縮まっていません。

すそ野を広げる為には、やはりスポーツとして気楽にできないのが問題です。冬のシーズンで合宿をするしかなく、道外からの選手は親御さんたちの負担が多いのが現実です。また、スキーマの道具はかなりお金がかかりますし…。今はしっかりユニバーで普及をしてそれが将来、高校・中学・小学校へと普及して広がっていくのが理想ですね。

(佐藤地区長) ソチオリンピックでバイアスロンの注目種目はありますか？

(山瀬さん) 現状から考えると4人で力を合わせるリレーですね。長野オリンピックよりも良い成績を出してくれることを期待しています。

(佐藤地区長) バイアスロンを見るとき注目ポイントはありますか？

(山瀬さん) 全力で走ってきてその後すぐにビタッと止まって射撃をするところですね。心拍数180前後で走り終えて150前後の中で射撃をし、その中で弾を手動で入れます。また、弾は5発撃ちますが、それを30~40秒で全て終えて次の走りに行くところが見どころです。

(佐藤地区長) 世界のトップクラスの選手で5発全部外す選手も中にはいるのでしょうか。

(山瀬さん) 1年間に参加する大会数にもよりますが、世界のトップクラスの選手は50m先の4.5cmの伏射の的を9割以上、11.5cmの立射の的を8割以上の確率で命中させる能力があります。

(佐藤地区長) それはすごいですね!! ソチオリンピックのテレビ放映が楽しみです。

興味深いお話をありがとうございました。サラエボの時から知っているのに、新しく立ち上がった団体だとは全く考えずに何ってしまいました。

(山瀬さん) 今回はこちらこそ色々なお話を伺える良い機会になりました。今は多くのボランティアの方々にお手伝いしていただきながら活動しています。やらなければならないことが沢山ありますが、将来のバイアスロン選手の活躍を期待しながら長い目で見守っていきたいと思います。

(佐藤地区長) 今日はお忙しい中、ありがとうございました。



【競技の歴史】

バイアスロンは、クロスカンリースキーとライフル射撃を組み合わせた複合競技です。「動」と「静」という相反する要素をバランスよく整えることが求められる過酷なスポーツです。

「バイアスロン」の語源は、ラテン語の「二つ」を意味する「bi (バイ)」に「競技」を意味する「athlon」をつけた言葉で、「2種目の競技」を意味しています。

バイアスロンの原形は、もともと北欧の人々がスキーを履き、銃を背負い、獲物を追って山野を走りまわっていた雪中の狩猟スタイルでした。これが後に戦闘や森林警備隊の技術として用いられるようになりました。

競技としては、18世紀後半にスウェーデンとノルウェーの軍人が行ったのが始まりといわれています。その後1860年代になって、ノルウェーの市民が、それまでの狩猟や戦闘技術として用いていたことを、スポーツとして行うようになっていきました。

オリンピックには、近代五種競技の冬季版として導入され、冬季オリンピック種目には、男子が1960年の第8回スコパレー冬季大会から、女子が1992年の第16回アルベールビル冬季大会から正式種目となりました。

【日本での競技の歴史】

1962年、札幌オリンピック開催が決定したときから組織的な強化が始められました。

雪上競技で銃を使用する競技の性質上、日本のナショナルチームは、陸上自衛隊冬季戦技教育隊の選手が中心になっています。

オリンピック冬季競技大会には、男子は1964年の第9回インスブルック冬季大会から、女子は1992年の第16回アルベールビル冬季大会から参加しています。

日本オリンピック委員会より

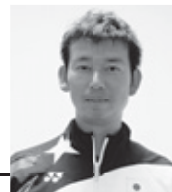
指導技術

技術論

世界基準を見据えたうえでの低年齢の指導

～U14までの子供たちに何を植え付けるべきなのか!?～

公益財団法人日本テニス協会本部
ナショナルチームジュニア女子ヘッドコーチ
ワールドジュニア女子代表監督 中山 芳徳



前回からの流れ

今回は、『PLAY+STAY』というハードで、「Game based approach (ゲームベースアプローチ)」という現代の指導法(ソフト)を使って、テニス=ゲームであるという事を子供たちに指導し、テクニカルな点においては、いかに効率的な動作の獲得が重要であるかを、お話しさせていただきました。

図1のように、彼らの年齢・能力に合わせたボール・コートサイズを使用し、現代の指導法を導入していただけると、我々が思い描く『PLAY+STAY』となり、より子供たちの上達とやる気を育てられると考えています。

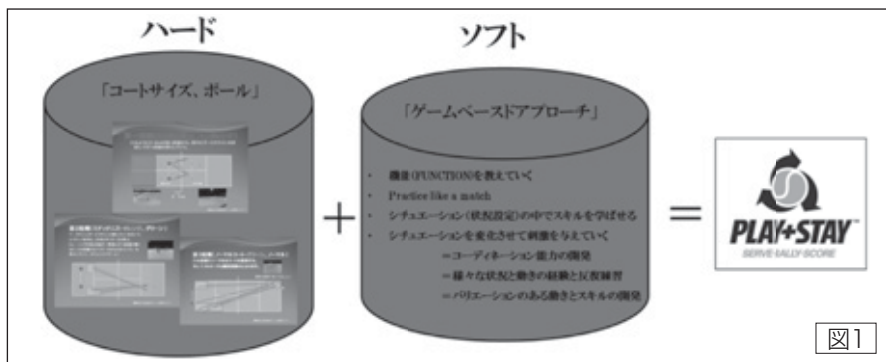


図1

そして、今回はまず図2・図3のようにコアムーブメントが優位に働くストロークを、いかにシステムチックに指導していくかを説明します。

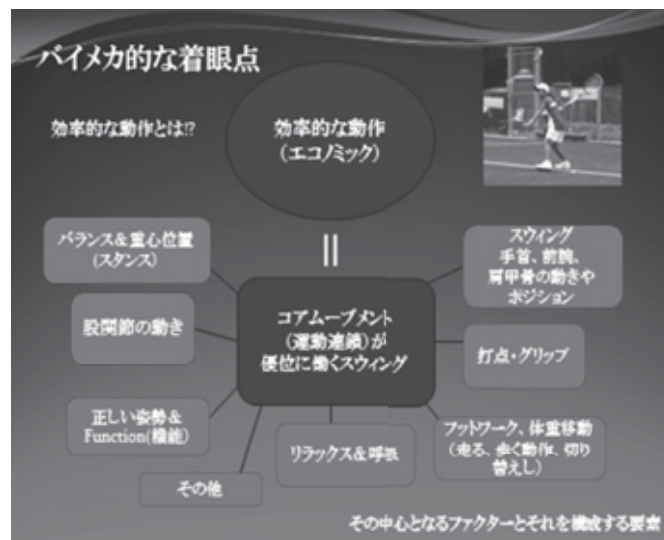


図2

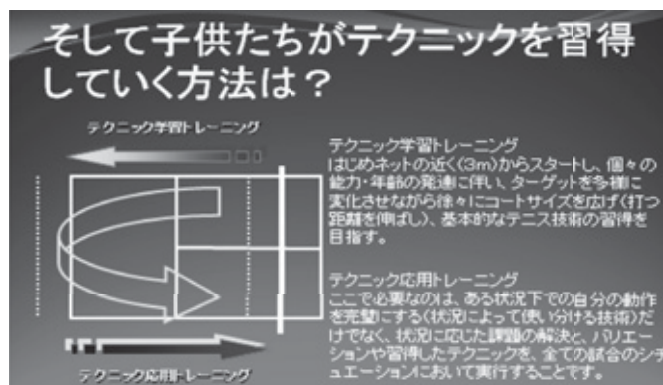


図4

まずはじめに、図4のように技術を習得する上では、彼らの年齢・能力によって、プレーする距離や広さを徐々に伸ばしていきます。また、それに伴って必要となる技術における身体の使い方(機能)を一つずつ増やしていき、それらを習得することで完成度の高いストロークに近づけて行きます。※単一的な動きから複合的な一連の動作へ

そして『PLAY+STAY』を通してテクニックを指導していく場合には、レッド・オレンジ・グリーンと打つ距離やコートの広さが変化する事によって、習得できる身体の使い方(機能)を以下のように、一つずつシステムチックに増やしていく事をお勧めします。

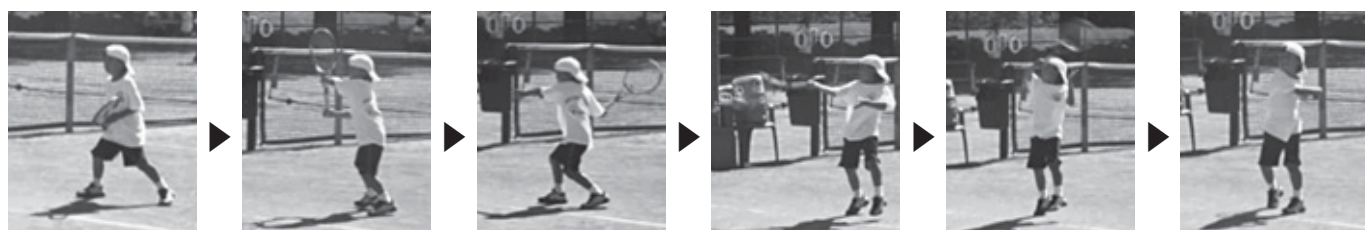


図3

レッドコート期のテクニック習得目標

テクニカル

1. ラケット面のコントロール＝打つ方向と面の関係（コーディネーション）
2. スプリットステップ＝正しいタイミング
3. 正しいレディポジション＝ラケットを構えた時の姿勢や肘、手首の位置
4. 重心の前でのインパクト＝おへその前
5. 運動連鎖が優位に働くスウィングの導入
 - ① ショルダーターン＝スプリットの後、まずショルダーターン！
 - ② 捻って戻してのリズム＝身体の回転運動でのスウィングのリズムを学ぶ
 - ③ この時下半身の強調はいらない＝極端なダウン・アップの動作は必要ない

6. バランス＝頭は支持面（スタンス）の中、足は脇の下＝スタンスの広さ
7. 極端なグリップを回避する

タクティカル

1. ターゲットを狙う意識を育てる（左右、深さ＝浅い・深い）
2. 相手を動かす＆返す
3. ゲームの楽しさを覚える（カウント）

オレンジコート期のテクニック習得目標

※ レッドの習得目標は引き続きチェック！

オレンジ step 1 テクニカル

（ミニテニスコート：サービスライン）

1. 運動連鎖が優位なスウィングの開発

- － 打つ距離が伸びる事でターンの大きさ
- － 肘のポジションが動きすぎない（構えから）
- － 手首を使いすぎているか？（こするようにブラッシュさせない→グリップが厚くなるリスクや打点が後ろになるリスクなどを抑える）

下半身の使い方の導入

- － ダウンtoアップの膝の使い方＝ナチュラルに
- － ショルダーターンに促された足の位置（ワイドスタンス）

2. 正しいグリップ

FH：3～3.5（例外で4もOK）

BH：右2～1.5 左3～3.5

オレンジ step 2 テクニカル

（コート3/4）

1. フットワークの導入

- レディポジション→スプリット→ターン→ヒット→リカバリーの一連の動き
- － クロスコートでヒップローテーションの重要性を学ぶ
 - － リカバリーでクロスオーバーステップ＋サイドステップを習得

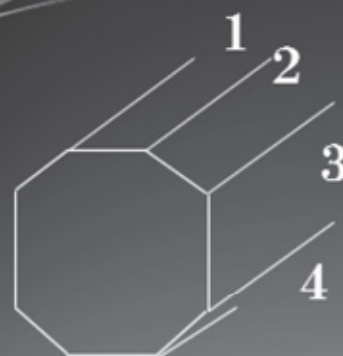
2. クロスとダウンザラインでの体の使い方を体験する

- － 体の向き
- － クロス：体の回転（アンギュラー＝回転運動）
- － ダウンザライン：打球方向（リニア＝直線運動）

3. ポジショニング

- － クロスとダウンザラインでリカバリーする位置の違いを知る

ジュニアプログラムグリップシステム



The Grip number for each strokes

1.5-2 1H Backhand Top

2 Serve, Overhead

2-2.5 Volley, Slice

3-3.5 Forehand Top

2H Backhand RH 2-2.5 LH 3-3.5

※ ナックルの位置は変えずに、ヒールパッドの位置を変えることによって最適なインパクトを作り出すことができます。例）ボレー（F/B）

チェックポイント

1. Base KnuckleとHeel Padを結んだ線を合わせる。
2. グリップがインパクトと身体の最適な距離を妨げないこと、身体の前でのインパクトを可能にすること。インパクトの手首の位置は身体の重心の前十分に有るべきです。
3. このシステムをもとに時間をかけてプレーヤー自身のフィーリングによる調節にまかせ、あらゆる打球に対応できる理想的なグリップを自分自身で発見できるように指導してください。ただし、それが特殊な形や違った形に陥らないように配慮してください。

タクティカル

1. オープンコートを作る
2. 相手を動かす＆返す
3. テニスのスコアを知る

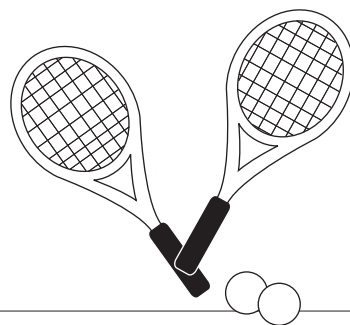


図5

グリーンコートからノーマル時期 (10～11歳以降) のテクニック習得目標

グリーン・ノーマルボールになると、コートサイズも通常の大きくなり、ストロークも爆発的な力が発揮できるような動作を開発していく事が、必要となります。そのため身体の機能として、肩の捻りが大きくなったり、スタンスが広くなったり、さらなる足首・膝や股関節の曲げ伸ばし（トリプルエクステンション）をおこなうことが、パワーを出すために、強調されるようになります。また、図7のように様々な状況でのフットワークや素早くポジションをとるための繰り返し動作、ヒップローテーションの加速（ボディスピードの加速）によってスピンのバリエーションを習得する事も、この年代から積極的にとり入れていってください。

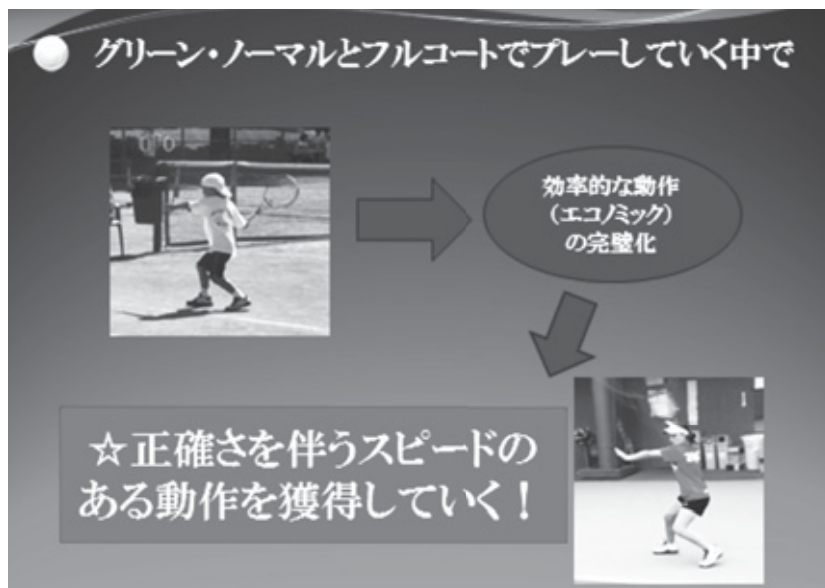


図6

図7



低年齢からのフィジカルディベロップメント

前回では、「テクニック」「戦術」「フィジカル」それぞれのエリアを独立してトレーニングし、徐々にそれぞれを密接にしていき（複合トレーニング）、完成度の高いゲーム性を確立していくイメージ(1月号/図10)を、お話をさせていただきました。低年齢のテニスにおいて、テクニックを習得するトレーニングでは、同時にフィジカルが自然に強化されていく事が難しい

のは、想像がつくと思います。なぜなら、最大限のスピードでラリーをしたり、心肺機能が高まり持久力がつくほどの長いラリーであったり、ある一定レベルの筋力があってできる動作を要求したトレーニングで、筋力がつくという事は考えにくいからです。そこでキッズや『PLAY+STAY』の年齢の子供たちには、特にスピード、アジリティー、コーディネーション、自体

重を支えるというようなトレーニングを、特化して行っていただきたいです。スピード（図8）に関しては、正しい走り方とランニングスピードを、スタート速度やボールを飛ばす上での爆発力をつけるために、アンクルホップなどのジャンプ系を、他のトレーニングと合わせて積極的にとり入れて欲しいです。近い将来、ダイナミックなバランスをスピードの中で保たなくてはならなくなるので、この年齢から片足でのスクワットや簡単なランジなど、体幹トレーニングと合わせて、自分の体重を正しく支えられるような筋力をつけていく必要があります。

そして図9のように、コネクショントレーニング期（13～16歳）に入ると、いかに正確に自分のボディスピードを上げることが必要となり（パワーへの移行）、それには、フィジカル的な能力の向上が欠かせない事を、理解していただけたらと思います。

コネクショントレーニング期(13～16歳)のフィロソフィー

13、14歳以降は、より攻撃的なテニスへ移行していく事はもちろんの事、様々な環境でプレーする事によって、以下の事項をディベロップしていきます。

1. 様々なプレースタイルの選手との対戦を積極的に経験し、ポイントをとるバリエーションを増やしていき、固定概念を取り払っていく
2. テクニックやゲームパターンが様々な環境に適應できるようにする（コートサーフェス、ボール、太陽、風、応援などなど）
3. 世界基準の中でプレーする事（日本以外での環境でプレーする）によって、自分をより知る事が出来、自分がこの世界で生き残っていくために、どのようなテニスをしていくべきなのかを模索していく＝個人のゲームスタイルの構築
4. サービスやリターンが武器となるように開発していく

今回は、技術的には特に大切なサービスやリターン、ネットプレー、そして戦術においてもほとんど触れる事ができませんでしたが、最終的に高いレベルでのゲーム性を出させるために、世界に通用するレベル(質)のボールを打たせるように育成していく事は、必要不可欠です。それには効率的な動作の獲得が、どのストロークにおいても絶対条件だと考えます。また個人の癖のある動きを尊重する事は、思春期が終えた後でも十分です。その前に、正しい効率的な身体の使い方を徹底して指導し、出来るだけ高いレベルに持って行ける基礎づくり、そしてケガのリスクを減らす事は、低年齢において特に重

要視していただきたいと思います。その育成段階にあって、同時に様々な経験を通して、様々な状況に対応できるゲームを開発していかなければならないので、一流のテニスプレイヤーを育成していくには、時間と情熱が必要であると改めて感じています。

そして最後に、皆様の現場のコーチングに、今回の情報や資料がすこしでもお役に立てればと思っております。JPTA NEWSの関係者の皆さま、JPTA会員の皆さま、この度はこのような記事の掲載の機会をいただき、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

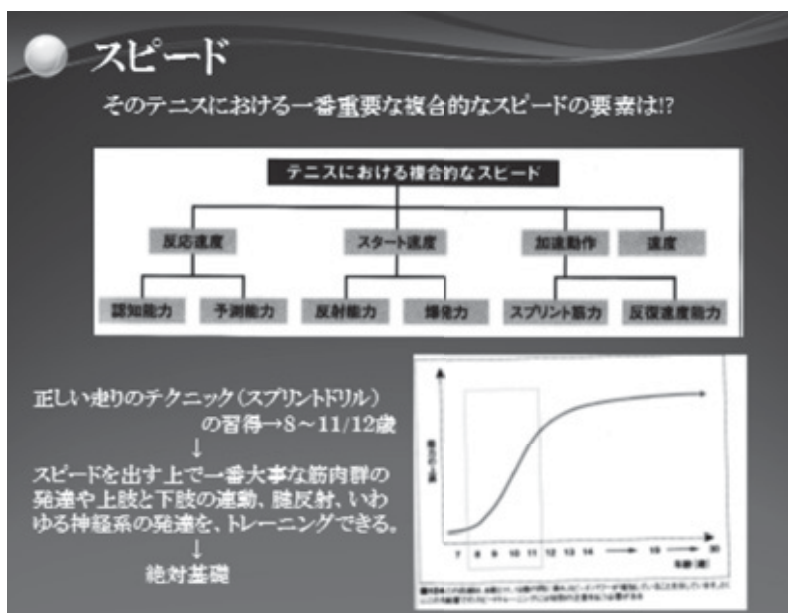


図8

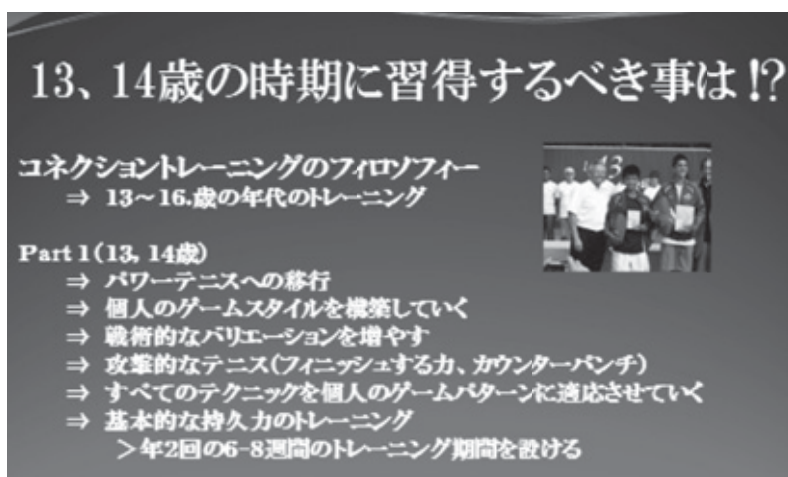


図9

参考文献・資料

- 2011 ITFWWCC(ワールドワイドコーチングカンファレンス)Drブルース・エリオット
 2003 スポーツ科学セミナー リチャード・ショーンボーン
 Competitive tennis for young players リチャード・ショーンボーン、グロッサー
 2011年 兵庫トレセン指導者講習会(第1回～5回) 中山芳徳

指導技術

指導編

テニス選手に対する栄養サポート

～味の素ナショナルトレーニングセンターでの活動～

エームサービス株式会社
味の素ナショナルトレーニングセンター アスリートヴィレッジ内食堂 SAKURA Dining勤務
管理栄養士、公認スポーツ栄養士、公益財団法人日本オリンピック委員会科学サポート部会員
高橋 文子（たかはし あやこ）

はじめに

ナショナルトレーニングセンター（現「味の素ナショナルトレーニングセンター」、以下「味の素トレセン」）は、スポーツ復興基本計画に基づき、日本におけるトップレベル競技者の国際競技力の総合的な向上を図るトレーニング施設として、平成20年1月に開所しました。競技者が同一拠点において、集中的・継続的に強化活動を行うことが可能となり、ジュニア競技者の育成等、長期的な強化事業に活用されています。

テニスにおいては、添田選手、伊藤選手ら日本のトッププロはもちろん、修造チャレンジトップジュニアキャンプ、U14ワールドジュニア代表合宿など、幅広く利用されています。

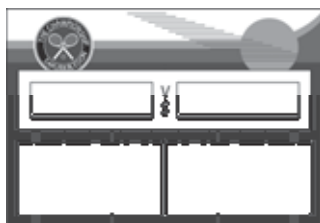
私は、味の素トレセンに併設されている宿泊施設アス

リートヴィレッジ内の食堂「SAKURADining」に管理栄養士として勤務し、選手らに対する栄養サポート「勝ち飯」を行っています。「勝ち飯」とは、味の素株式会社がJOCゴールドパートナーとして、公益財団法人日本オリンピック委員会と共同で、オリンピック日本代表選手団の国際競技力向上に向け、食と栄養面からサポートする「ビクトリープロジェクト」の一環で、「味の素ナショナルトレーニングセンター / SAKURA Dining」で展開している栄養プログラムです。

初めてテニス選手に関わったのは、平成20年5月、U14ナショナルチーム（男女）への栄養セミナーでした。その時の対象選手が今年プロになりました。

この5年間、多くのテニス選手、コーチ、スタッフらと関わらせていただき、テニスという競技に適した栄養サポートを模索してまいりました。まだまだ道半ばではありますが、この5年間の栄養サポートの一部を皆様にご紹介したいと思います。

食事の5セットマッチ



食事の5セットマッチ Eat to Win

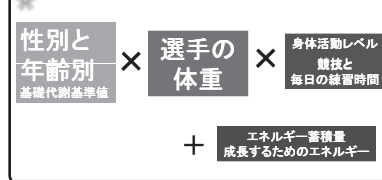
修造チャレンジトップジュニアキャンプなど、ジュニア選手対象の栄養セミナーでは、食事を5セットマッチに例えて説明しています。

1st カテゴリーをそろえる



1stセットは「カテゴリーをそろえる」です。カテゴリーというのは、主食・主菜・副菜・牛乳、乳製品・果物のことです。主食はご飯、パン、麺類、主菜は肉、魚、卵などのおかず、副菜は野菜などのおかずと説明します。テニス選手にとっての「勝つための食事」には、まず5つのカテゴリーを毎食しっかりとそろえることが大前提となります。

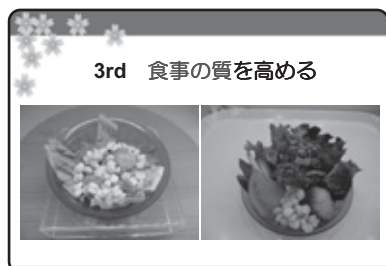
2nd 食事の量を考える



※身体活動レベル
1日の消費エネルギー量が基礎代謝量の何倍になっているかを示す数字

2ndセットは、「食事の量を考える」です。まず選手1人1人の性別・年齢・体重に応じて1日の推定エネルギー必要量を計算します。そのエネルギー量に基づいて、1stセットの各カテゴリーをどれくらい食べなければならないかを説明します。例えば、主食であればコンビニのおにぎり（1個約100g）を1食あたり何個食べればいいのかを覚えてもらいます。コンビニのおにぎりの例えは印象に残りやすく、選手はもちろん、コーチの方々から「わかりやすい」とお褒めの言葉をいただいています。ちなみに、エネルギー必要量が多く、1回ではとても食

べきれない場合は、補食を活用するように伝えています。ほとんどのジュニア選手が学校から帰った後、一度補食をはさんでから練習をしています。補食に何を食べているかを聞いたところ、多くの選手がおにぎりと答えました。トップクラスのジュニア選手の練習量を考えると、お菓子をちょっとつまんだくらいではもたないでしょう。



3rdセットのテーマは、「食事の質を高める」です。わかりやすいのはサラダの摂り方です。ジュニア選手の中には味の濃い野菜が苦手な選手があり、サラダを盛り付けるのを見ているとレタスとコーンしかのっていないことがあります。そこでトマトやブロッコリーなどの緑黄色野菜を加え、質を高めることを提案します。ジュニア選手にはトマトやブロッコリーにはビタミンAが多く含まれるというような言い方はしません。味の素トレセンはオリンピック選手がトレーニングをする場所ですので、赤・青・黒・黄・緑の五輪エンブレムの色をそろえて、五輪サラダを作ろうと言います。フェデラーや世界のトップ選手がオリンピックを特別な大会と公言し、日本選手もロンドンオリンピックに男子3選手が出場しました。中でも錦織選手が5位入賞し、その活躍に刺激され、ジュニア選手にもオリンピックという言葉が響いているようです。



4thセットは「タイミングを逃さない」とし、練習後、早めに食事を摂ってもらうよう説明します。すぐに食事が摂れない場合は、おにぎりや果汁100%ジュース、ヨーグルトなどの補食を勧めています。補食は練習後、回復のタイミングを逃さずに栄養補給をするという点で重要ですが、もう1つメリットがあります。夕食前に補食をはさむことで、夕食の食べ過ぎを防げます。夕食の食べ過ぎは、寝ている間も胃腸が休めず、翌朝まで胃がもたれ、朝食が食べられないという悪循環を招きます。

1食あたりの目標の目安量

ジュニアの食事に必要な量 (100g単位)

2,000kcal	200g
2,500kcal	250g
2,800kcal	280g
3,100kcal	310g
3,400kcal	340g
3,700kcal	370g

1日に必要なエネルギー量を知る

体重 (kg)	男子 (kcal)	女子 (kcal)
35kg	2,000kcal	2,000kcal
40kg	2,500kcal	2,400kcal
45kg	2,800kcal	2,700kcal
50kg	3,100kcal	3,000kcal
55kg	3,400kcal	3,300kcal
60kg	3,700kcal	3,600kcal



5thセットは「有効に活用する」です。ここでは消化・吸収と睡眠の話をしてします。まず、消化・吸収についてですが、食事で摂取した栄養を余すところなく活用しようと言います。みそ汁などのだしに含まれるうま味成分「グルタミン酸」は唾液の分泌を促進し、胃に届くことで胃液の分泌も促進されます。そこでだしの旨みをたっぷりと含んだ汁物を飲み、食欲のスイッチを入れようと話します。次に睡眠の話ですが、寝ている間に分泌される成長ホルモンが骨を伸ばし、筋肉を成長させる作用があると説明します。男女とも背が高くなりたくないジュニア選手はいません。私が今からどんなに頑張って寝ても、身長は伸びません。しかし、成長過程にあるジュニア選手たちが、まさに今、食事や睡眠、テニスの練習にしっかりと取り組めば、勝てる体作りができると話しています。

栄養セミナー後、「SAKURA Dining」で食事となります。そこでの食事を写真に撮り、セミナーで勉強したことが実践できているかを確認します。ただ確認するだけでなく、「SAKURABLEDON Championships」と称し、食事選択がよかったトップ3を発表します。トップ3に入った選手たちは、上のカテゴリー (U16～U18) でも代表選手として活躍しています。そのことを今年の修造チャレンジ参加選手に伝えたところ、一気にモチベーションが上がりました (笑)。また、昨年まではセミナー直後の食事しか確認していなかったのですが、今年はセミナー後1日分の食事を確認しました。直後はしっかりできていても、徐々に主食 (ご飯、パン、麺類) や副菜 (野菜) が少なくなる選手が現れました。このことから今後は、モチベーションを継続させる仕掛けも考えていきたいと思っています。

終わりに

今回はジュニア選手への栄養セミナーについて、ご紹介させていただきました。テニスにおいて、「食事がよかったから勝てた」はありません。「質の高い食事、質の高いトレーニングで自分を追い込むことができ、勝てた」となっています。食事や睡眠という日常の質をより上げていく

ことが疲労を回復させ、次の試合・トレーニングでより高いパフォーマンスにつながります。選手自身がそのことを体感し、日常のセルフマネジメントを高めていくことが、栄養サポートの最終目標だと思っています。



USPTA News



heckler氏が来日された折、USPTAより“審査員特別賞”が初代事務局長 川上 岳氏に贈られました

1982年から30年間に渡り、USPTAのCEOを務められたティム・heckler氏が、今年2月4日、心筋梗塞のため逝去されました。

プロテニスコーチという職業の社会的地位と生活向上を目指し、USPTAがテニス産業の最前線を確保し続けることを願い、USPTAを牽引してきたheckler氏のその姿勢は、多くの人々に刺激と感銘を与えました。

おりしもheckler氏がCEOに就任された1982年、JPTAはUSPTAと提携契約を結び、heckler氏は調印

のために来日され、その後もJPTAの発展に理解と協力を惜しまれませんでした。

USPTAと深い関係を結んできた私たちJPTAは、CEO引退のメッセージを発表されてから、1年を経ずに突然舞い込んだ訃報に際して追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り致します。

理事長 佐藤 直子

Walter Timothy Heckler ティム・heckler



- 1942 南アフリカ キンベリーで生誕
- 1945 3歳でテニスを始める。高校卒業後、国際トーナメントに参戦
- 1959 テニス奨学金にて渡米、テキサス州ラマー大学に入学。生物学専攻
卒業後は医療研究分野に就職
- 1959・1961 ウィンブルドン出場
- 1960 USオープン出場
- 1970 28歳。ヒューストン ウェストウッド・カントリークラブで常任テニスコーチとしてテニスコーチ業をスタート
USPTAに加盟
多目的クラブ運営の傍ら、ジュニアツアーコーチ、各年齢の全米ジュニアチャンピオン育成に従事
- 1972 大規模娯楽施設のデザイン、マネジメント、プログラミングを手掛け、テニス業界のコンサルタントとして活躍
- 1973 ヒューストン アストロドームにて、ボビー・リッグス対ビリー・ジーン・キングによる
「世紀の対決」のコンサルタント兼テニスディレクターを務める
- 1974 32歳。USPTA全米執行委員就任
- 1978 テキサス代表を経て全米理事に就任
- 1979 USPTA年間最高プロフェッショナル獲得。マスタープロフェッショナルとして活躍
- 1980 USPTA 理事長に選出される
教育プログラム、試験プログラムの確立・革新に努める
- 1982 40歳。USPTA CEOに抜擢され就任。
以降30年間CEOとしてUSPTA を牽引する
USPTAのビジネスのコンピューター化を開始。インターネットやEメールを通じたコミュニケーションと教育を実現
- 1994 USPTAがリトルテニスを導入、全米規模のプログラムに成長させる
- 1995 USPTA が初のウェブサイトを開設
- 2002 国際テニスの殿堂 (International Tennis Hall of Fame)から教育功労賞を受賞
- 2012 70歳。USPTA CEOを退任
- 2013年 2月4日 心臓発作のため逝去

☆テニスのみならず、スキューバダイビングのインストラクターでもあり、ボート、スキー、サッカーの愛好家であるなど、優れたスポーツマンであった。
☆最新テクノロジーに興味を持ち、いち早くITを取り入れ、USPTAがテニス産業の最前線の位置を確保することに尽力した。

石黒修名誉顧問、渡辺功副会長、川上岳初代事務局長に、当時のことやご本人についての思い出を伺いました。会員の皆様の中には、ティム・ヘックラー氏をご存じない方もたくさんいらっしゃると思いますが、ぜひJPTAライセンスの始まりの頃に思いを馳せてみてください。

実に才能豊かな方でした。突然の訃報に、驚きと悲しみを禁じえません。心からご冥福をお祈り致します。

……石黒 修

JPTA独自のプロコーチライセンスの形を模索していた当時、USPTRブームが日本のテニス界を席卷する勢いでしたが、ライセンス部門の構築を担った平野三樹氏はじめ皆で熟考した結果、私たちはUSPTAとの提携を選択しました。

お会いした中でも生物学出身のヘックラー氏と工学博士でもあったポール・ザントス氏は、共に実に話が理論的で明確でした。

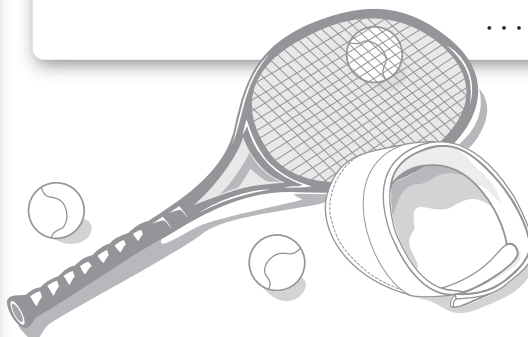
ヘックラー氏とは3回お会いしましたが、とても紳士的で広く深い教養が感じられ、実に魅力的な方でした。今まさに、それがプロテニスコーチにとってとても大切なことだと思います。どうぞ安らかにやすみ下さい。

……渡辺 功

イギリス系の紳士といった感じが印象的で、ウィットに富んだ素敵な方でした。

当時JPTA事務局長を務めていた私は、クラブ経営ビジネスの分野でのJPTAの役割をPRしようと考えてヘックラー氏に相談したところ、ザントス氏同伴のもとカリフォルニアで20箇所のテニスクラブを視察する機会に恵まれ、その情報をもとに「テニスクラブ経営ハンドブック」を作成出版しました。素晴らしい思い出と共にある方です。ご冥福をお祈り致します。

……川上 岳



USPTA NEW CEO'S MESSAGE

ティム・ヘックラー氏に代わり新しくCEOに就任されたジョン・エンブリー氏よりご挨拶をいただきました。



Dear Japan Professional Tennis Association members:

For more than three decades, the United States Professional Tennis Association has been proud of its relationship with the Japan Professional Tennis Association.

The JPTA became USPTA's first international division in 1982, and since that time we have benefited from the friendships and knowledge of JPTA professionals.

This is an exciting time at the USPTA and we're thrilled to have the JPTA be a part of it. As tennis-teaching professionals dedicated to excellence, USPTA and JPTA are determined to uphold the highest standards of our profession and to promote the game of tennis. We hope our continuing relationship will only strengthen these goals and help us work together to promote our passion for the game of tennis.

Sincerely,

UNITED STATES PROFESSIONAL TENNIS ASSOCIATION, INC.

John Embree

Chief Executive Officer

拝啓 日本プロテニス協会 会員の皆様

私たちは30年以上も続く、USPTA(アメリカプロテニス協会)とJPTAとの関係を誇りに思います。

JPTAが1982年にUSPTAと提携し、アメリカ国外で初めて(JPTAの資格と共に)USPTAの資格も取得できる団体となって以来、JPTAのプロたちとの友好関係やその知識から私たちは恩恵を受けてきました。

それはUSPTAとJPTAにとって非常にエキサイティングな時間であり、優秀なプロテニスコーチとして貢献するためにも、USPTAとJPTAは、プロコーチの水準の維持と向上を目指し、また、さらなるテニスの普及を目指さなければなりません。

私たちはこの長きにわたる友好関係がそれらを達成する力となり、またこれからも共にテニスにかけける情熱を高め合えるものとなるよう願っています。

敬 具

CEO ジョンエンブリー

【選手紹介リレー】

ProPlayer
Interview
プロプレイヤー
インタビュー

日比野プロにうかがいました

- Q01 テニスを始めた年齢ときっかけを教えてください。
- 10歳の時、兄が通っていたテニスクラブに付いていったのがきっかけです。
- Q02 プロを目指そうと考えたのはいつごろですか？
- プロになりたいと考えたことはなくいつも漠然と考えてました。
- Q03 憧れの選手、目標にしている選手がいれば教えてください。
- 憧れの選手はマリア・シャラポワです。
彼女のプロ意識の高さを知ってからわたしもシャラポワのようなプロフェッショナルになりたいと思うようになりました。
- Q04 テニス留学をすると決めた理由はどのようなことですか？
- ITFの大会に出て世界に挑戦したいと思い、そのサポートをしてくれると言ってくれたからです。
- Q05 次第に変化していると思いますが、最近は1日どれくらい練習されていますか？
- 1日、5～6時間練習しています。
- Q06 現在、重点をおいているトレーニングはありますか？
- フットワークです。瞬発系の動きが苦手なのでそこを特に練習しています。
- Q07 テニスをする上で、こだわっていることはありますか？
- テニスは自己表現の一つなのでどんなときも自分らしくプレーすることを心がけてます。
- Q08 留学にも海外遠征にも英会話が必須ですが、英会話は好きですか？ または、どうやって勉強されていますか？
- 小さい頃から洋画を観るのが好きですと観ていました。
好きな映画を繰り返し観てセリフを丸暗記します。言い回しを覚えられるのでとてもオススメです！
- Q09 試合に臨むとき、こだわっている事や、必ずしていることはありますか？
- 音楽を聴きながらコートに入ります。お気に入りの曲を大きめの音で聴いて周りの音が聞こえないようにします。
- Q10 日比野プロにとって「コーチ」とはどんな存在ですか？
- 線路ですかね...わたし自身が電車ならコーチは正しい道に導いてくれる線路のような存在です。
- Q11 厳しい状況に立たされたとき、モチベーションを上げる方法がありますか？
- 自分の欲しいものややりたい姿、行きたい場所を想像するようにしています。

「選手紹介」コーナーでは、往年の選手から若手選手まで出来るだけ多くの選手の皆さんにインタビューをさせていただき、プロとしての志や垣間見える素顔の部分をご紹介していきたいと思います。

第6回目のページを飾るのは2013年4月にプロ転向された「日比野奈緒プロ」です。



プロフィール

日比野 菜緒 (ひびの なお)

- 生年月日：1994年11月28日
- 出身地：愛知県
- プロ転向：2013年4月
- 所属：木曽川ローンテニスクラブ
- テニスを始めた年齢：10才



< 主な戦績 >

- 三重国際オープンテニス(シングルス)優勝 /2012
- 東京有明国際女子オープン(シングルス)優勝 /2012
- GSユアサオープン(シングルス / ダブルス) 優勝 /2012

- Q12 リフレッシュする時間が取れた時、一番したい事、又は今はまっていることがあれば教えてください。
- 食べることが大好きなので美味しいものを食べに行きます！あと料理も好きなので友達とご飯を作ったりしています。
- Q13 大好きな食べ物はなんですか？ また、それはどのような時に食べますか？
- たくさんあります(笑)焼肉、餃子、パンケーキ、タルトケーキ...でも一番好きなのは母が作ってくれる餃子です。大会で優勝した時などは必ず頼んで作ってもらいます。
- Q14 この世で苦手なものはありますか？
- ランニングです。集中力がないので一定の速度で走り続けるのが苦手なんです...(笑)
- Q15 Q12のほかに、最近のマイブームがあれば教えてください。
- ストレッチです。トレーナーさんにストレッチの回数を増やすように言われて練習後と寝る前にやるようになってから体の調子がよくなったので...いまは寝る前に音楽を聴きながらストレッチをするのが一日の楽しみです！
- Q16 最後に日比野プロを応援している、JPTA会員にメッセージをお願いします。
- 初めまして、日比野 菜緒です。
日本の大会に出ることが少なかったのであまり知られていない私ですが、強くなってもっとたくさんの方に試合を観てもらえるように頑張ります。応援よろしくお願いします！



イベント開催会場募集!

テニスの普及と発展を目指して9月23日「秋分の日」を『テニスの日』と制定し、今年で16年目を迎えました。今年も9月23日を中心に、全国各地でテニス愛好者も未経験者も大人も子供も参加できる様々な「テニスの日イベント」が開催されます。あなたのクラブ・スクールを「テニスの日」個別のイベント会場にしませんか? (2012年度個別イベント開催箇所数 434ヶ所)
9月23日に限定する必要はありません。都合がよい日に、無理なく開催して下さい。「テニスの日週間」「テニスの日月間」でも大歓迎です。全国津々浦々を“テニス”で盛り上げましょう!!

【イベント開催内容の例】

- ・テニスクリニック
- ・全国ボレーボレー大会
- ・親睦テニス大会
- ・スクール体験レッスン
- ・テニスの日記念トーナメント
- ・サービスの当て
- ・テニスフェスティバル
- ・スピードガンコンテスト
- ・コート開放/割引
- ・ターゲットテニス
- ・コーチに挑戦
- ・ラケット試打会 など



2013 イベント開催特典



- 【1】ポスター(B2) チラシ(A4)を無料送付
- 【2】チャーム購入でのぼり旗「黄・緑セット」無料進呈
- 【3】新規登録会場限定 特大横断幕1枚無料進呈 (先着50枚)

※【1】【2】送付数に上限あり
※【3】新規登録のみ対象

チャーム販売中



卸価格 1個 200円
(参考売価 1個 300円)

【チャーム活用例】

- 300円で販売し、利益をイベント等に活用!
- 体験レッスン者やスクール生、来場者へのプレゼント
- イベントやボレーボレー等の参加賞や景品として

★台紙にプレゼント応募券付

2012 個別イベント表彰

- 個別イベント大賞
湘南インドアテニスクラブ
「親子テニス教室」
- ボレーボレー大賞
株式会社ツカダブランニング
「第1回ボレリンピック大会」
- ビジュアル大賞
株式会社レック興発
「TEAM RECの円陣ボレーボレー!」
- アイデア賞
TOPインドアステージ津田沼
「テニスの日ストラップ」
- 個別イベント特別賞
インドアテニスセンターウイング札幌ウエスト校
「テニスの日ウイング秋祭」
- ボレーボレー特別賞 (4校)
メガロスインドアテニススクール全国9店舗
「～絆プロジェクト～メガロス1周物語」
ネオインドアテニススクール西新井
「ボレーボレー大会 めざせ日本一!」
TOPインドアステージ多摩
「ボレーボレー5種競技」
TOPインドアステージ氷川台
「スタッフ対抗ボレーボレーチャレンジ」



テニスの日名物企画 いつでもどこでも 「全国ボレーボレー大会」 めざせ! 10万人ボレーボレー!

- ① 基本ルール 『三段・五段・達人』を認定
とにかく「ノーバウンドで何分続くか」のみ
3分間達成で**三段**を認定
5分間達成で**五段**を認定
10分間達成で**達人**を認定
 - ② 早撃ちボレーボレー
とにかく「何回行き来できるか」のみ
 - ③ 1分間「初段」ルール
 - ④ その他 オリジナル・ルール
- レベルや環境に合わせて最長時間を競ったり、回数を決めて何分で出来るか...など、色々なアイデアでチャレンジしてみてください。
●9月23日以外でも構いません。ご都合の良い日程で企画して下さい。
●レッスン間の空き時間やウォーミングアップ時間を利用するなど
スクール生の挑戦やクラブ内で楽しむ企画が毎年増えています。

2012年
82,699人
参加

指導者資格のポイント取得対象となります!

イベント開催登録会場で当日のコーチや運営などにご協力頂いた(公財)日本体育協会公認指導者は次の通りポイント取得が可能です。
*日本テニス協会登録のテニス指導者は1ポイントの実習ポイント
*日本プロテニス協会登録のテニス教師は2ポイントの研修ポイント

イベント登録
グッズ注文は
テニスの日
WEBサイトから

個別イベント
ポイント制度実施中
詳細はテニスの日
WEBサイトで

※イベント登録やグッズ注文はテニスの日 WEB サイト <http://www.tennisday.jp> から
イベント開催が難しいという場合は、ポスター・チラシの掲示にご協力下さい。

2012年度 ニュージェネレーションテニス 全国大会報告書

(前) 育成・普及事業部 部長 藤沼 敏則
(前) ジュニア育成委員会委員長 辻野 隆三



ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバンが開催されて15年、ここ北九州市で開催してはや4年目、その間トーナメントの κατηγοリーをU13とU15に変更し、名称も全国大会に相応しく「JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT」としました。またITFの新ルールにいち早く対応し、日本で初のU10グリーンボール大会の全国大会を開催することが出来ました。



これも予選会を開催していただきました会員様のご協力の賜物と、心から感謝いたします。

この日本プロテニス協会主催のニュージェネレーションテニスは、「将来の原石を発掘する」スカウト

キャラバンと、「テニスの実力者を選抜する」トーナメントに分かれています。この双方の大会は海外予選も行い、海外からも参加できる日本で唯一の独自大会です。

今年も国内外69ヶ所にて予選大会を開催し、参加資格を得た約300名の子どもたちが集結し、熱い戦いを繰り広げました。

そして今年も国内外から参加する多くの子どもたちに、「夢」「楽しさ」「仲間」を持ち帰ってもらえるようにと、辻野隆三ジュニア育成委員長、田村伸也育成強化コーチ、山本育史育成強化コーチをはじめ、

藤井渉プロ・岩淵聡プロ・宮地弘太郎プロ・茶園哲也プロ・平沢潤プロ・吉田友佳プロ・森上亜希子プロ・小畑沙織プロ・米村知子プロ、そして特別ゲストとして植田実徳杯監督など、多くのプロプレーヤーの方々が協力してくださいました。

2013年度もすでにスタートしましたが、もっと多くの子供たちに参加していただきたいと思います。ぜひご興味のある方はどしどし事務局へお問い合わせください。

皆様のご参加を、ジュニア育成委員一同心よりお待ちしております。

最後になりますが、ニュージェネレーションテニスにご協力、サポートいただきました企業様に、厚く御礼申し上げます。



協力頂いたプロプレーヤーの皆様



プロレッスン



パーティー



高学年入賞者



低学年入賞者



トーナメントU15入賞者【男子】



トーナメントU13入賞者【男子】



トーナメントU10入賞者【男子】



トーナメントU15入賞者【女子】



トーナメントU13入賞者【女子】



トーナメントU10入賞者【女子】

JPTA海外遠征 in ロサンゼルス 報告

育成・普及事業部副部長 山本 育史

日程：2013年6月5日(水)～18日(火) 12泊14日

場所：アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス

参加者数：16名(ジュニア)

スタッフ：辻野隆三 育成・普及事業部長、平沢潤 育成・普及事業副部長、
山本育史 育成・普及事業副部長、荒井英樹 ジュニア育成委員会副委員長



■ 2013ロサンゼルス遠征(遠征中の主なアクティビティ)

- 1) ジャッククレーマー・テニスクラブにて練習&対抗戦
- 2) 平沢副部長のテニスクラブにて練習&フィジカルトレーニング
- 3) ロバート・ランズドープ氏によるレッスン
- 4) ウェストエンド・ラケットクラブにてレッスン&対抗戦
(ステファニー・ランズドープさん)
- 5) デニス・リザ氏によるレッスン
- 6) 内田友来先生によるスポーツ選手に必要なストレッチ講習
- 7) ウィルソンパークでの練習&トレーニング
- 8) マンハッタンビーチ・近隣公園でのランニング

■ 遠征総括

本年度のアメリカ合衆国・ロサンゼルス遠征は16名の参加となりました。参加した年齢は9歳から14歳と幅広く、テニスのレベル差も大きいこともあり、今回の遠征は、2つのグループに分かれて活動をいたしました。

育成強化グループはジャッククレーマー・テニスクラブ及び平沢副部長のテニスクラブを、また一般参加のグループは多くの有名選手を輩出しているウェストエンド・ラケットクラブをレッスン、練習、対抗戦の主な活動拠点としました。

2つのグループに分かれたことにより、移動時間のロスや、ストレスを軽減できることとなり、時間にもゆとりが生まれました。また大勢で行動するよりも子供達の安全を確保しやすい状況となりコーチの負担が緩和されました。

今回の遠征でとても印象的だった事は、予想以上に子供達が積極的に英会話に挑戦していた事、ロバート・ランズドープ氏にレッスンを受けている時の子供達の非常に緊張しながらも、必死にボールを追いかけている姿が目には焼き付いています。同じ指導者としてそのような空気を作りあげるランズドープ氏から勉強させていただきました。

また昨年と同様に現地在住の平沢副部長に対抗戦、練習環境の確保、宿泊先、レンタカー等のコーディネートをしていただきました。今回は更に、現地在住の河野氏に大変大きなサポートをし

ていただきました。変則的なスケジュールに対応していただいたばかりではなく、美味しいお店を紹介していただいたり、子供達と多くのコミュニケーションを図っていただきました。子供達ばかりでなく我々引率するスタッフも安心して遠征を終えることができたのは、多くの皆さんの支えがあった事だと再認識することができました。遠征終了後、参加ジュニアのご父兄から協会へ感謝やお礼のメールをいただいたと報告を受けています。また、参加したジュニアの中には、帰国後すぐに行われた全国大会の予選を勝ち抜き、全国への切符を手にしたとの報告も受けました。

最後に、今回の遠征に携わっていただいた皆様方のご協力に対して、心から感謝申し上げます。

来年度は更にパワーアップしたロサンゼルス遠征にできるよう努力していきたいと思います。

本当にありがとうございました。



<プロフィール>

●ロバート・ランズドープ氏

ビタス・ゲルレイテス、ジョン・マッケンロー、トレーシー・オースチン、エリオット・テルシャー、ステファニー・レーヒ、ピート・サンブラス、リンゼー・ダベンポート、マリア・シャラポワ等を育成し、世界一のテニスプレーヤーを輩出したコーチです。

●デニス・リザ氏

ピート・サンブラス(9歳～12歳)、リンゼー・ダベンポート(8歳～10歳)など、アメリカを代表する選手のジュニア時代のコーチとして有名。アメリカ・ジュニアデビスカップ監督なども務める、アメリカを代表するジュニア育成コーチです。

●内田 友来 先生

陸上、競技スキーの競技経験を基に、スポーツ障害に詳しく、カイロプラクティックと鍼、漢方の複合治療に定評があります。アメリカ代表プロアイススケーターを始め、LAに遠征に来たクルム伊達選手等の様々な競技のプロアスリートの治療経験も豊富です。



全国大会が無事に終了し、
北九州市北橋市長、市民文化スポーツ局
柏木局長を表敬訪問致しました。



【第3回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U13・U15】

【第1回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT グリーンボール大会 U10】

ドロー抽選会：2月21日(木) ホテルクラウンパレス北九州

期 日：2月22日(金)・23日(土)

会 場：2月22日(金) U10 穴生ドーム

U13 三萩野庭球場

U15 桃園庭球場

2月23日(土) 決勝・3位決定戦 穴生ドーム
(強化レッスン：桃園庭球場)

参加人数：142名

2012年度は第1回となるグリーンボールを使用したU10の全国大会を開催いたしました。

全国各地及び、アメリカ(ロサンゼルス)の合計47会場で勝ち抜いた総勢142名が北九州の3会場で熱戦を繰り広げ、テニス界のジュニア層の勢いが見られました。

優勝したU15、U13選手には1年間のJPTA強化選手として海外遠征等の副賞が、U10の優勝選手には国内強化レッスン(春・夏・秋)参加時の交通費の副賞が付与されます。

【第15回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン】

期 日：2月23日(土)・24日(日)

会 場：穴生ドーム

種 目：2月23日(土) プロプレーヤー推薦枠選考会
2月24日(日)

午前 体力テスト

50m走、ボール投げ、スパイダー、
立ち幅跳び、シャトルラン

午後 プロプレーヤーによるエキシビジョンマッチ
プロプレーヤーによるレッスン

参加人数：130名

ジュニアスカウトキャラバン体力審査は、小学校低学年(1年～3年)、高学年(4年～6年)に分かれて、学年毎男女別の基準値を採点に反映しています。

1日目は開会式終了後、プロプレーヤー推薦枠選考会を行いました。テニスの技術を採点するものではなく、ラケットを手にした時の選手の姿勢ややる気をプロプレーヤーの目から見ていただき、テニス経験有無に関わらず原石を見つけ出すプログラムです。今回は45名の選手がプロプレーヤーからの推薦を受けました。

2日目は体力審査、プロプレーヤーによるエキシビジョンマッチとレッスンを行いました。

体力審査の結果、最優秀選手は低学年より2名・高学年より2名、優秀選手は低学年より6名・高学年より5名が入賞しました。高学年最優秀選手には海外遠征、低・高学年最優秀選手には国内強化レッスン(春・夏・秋)参加時の交通費、公認企業からのサポート等の副賞が付与されます。

この地区大会からは、錦織圭選手、三橋淳選手、育成選手からは、奈良くるみ選手、土居美咲選手、秋田史帆選手、内山崇寛選手等多くのプロ選手を選出しております。

公益社団法人日本プロテニス協会では、
ニュージェネレーションテニス全国大会において、
優秀な成績を収めた選手の為に育成サポートプログラムを
下記の通り用意しています。

《2013年度 今後の主なスケジュール》

第2回育成・強化プログラム(サマーキャンプ)

日程：8月19日～22日 (3泊4日)

会場：花川運動公園、浜松市雄踏総合公園(静岡県浜松市)
協会ホームページにて募集中です。

第3回育成・強化プログラム(オータムキャンプ)

日程：11月15日～17日 (2泊3日)

会場：調整中

詳細が決定次第協会ホームページに掲載予定

●エリア育成・協会プログラム

担当コーチが(北海道・東北・北信越・関東・東海・中国/四国・関西・九州)
エリアにてレッスン。詳細が決定次第協会ホームページに掲載予定

●ジュニアオレンジボール 遠征：12月8日～24日 予定

詳細が決定次第協会ホームページに掲載予定。

●2013年度NGT全国大会(北九州市)：

トーナメント 2014年2月21日・22日

スカウトキャラバン 2014年2月22日・23日

(第2回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT グリーンボール大会 U10)

(第5回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U13)

(第5回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U15)

(第16回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン)

NGTスカウトキャラバン地区選考会、トーナメント(グリーンボール含む)
の地区大会会場もまだまだ募集中！(開催期間 2013年11月末頃まで)

オータム
キャンプ

サマー
キャンプ

ジュニア
オレンジ
ボール



写真は2012年度

ジュニア 地区大会案内

※日程順で表示

2013年度 第16回 ニュージェネレーションテニス・ ジュニアスカウトキャラバン 地区選考会会場

【全国大会日程】2014年2月22日(土)～23日(日) (予定)

	地 区	日 程	会 場 名
1	北信越	7/7 (日)	スポーツドーム・エアーズ
2	中国・四国	7/21 (日)	テニスアリーナガーデン福島
3	北信越	8/19 (月)	軽井沢インドアテニスコート
4	東海	【予定】8/21 (水)	サマーキャンプ (花川運動公園テニスコート)
5	関東	8/30 (金)	メガロス柏テニススクール
6	九州	9/15 (日)	スターテニススクール
7	東海	9/22 (日)	ピスタヴェルデ春日井テニススクール
8	九州	9/23 (祝・月)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
9	中国・四国	9/23 (祝・月)	広島広域公園テニスコート
10	北信越	10/14 (祝・月)	グリーンインドアテニススクール
11	北海道	10/27 (日)	宮の森スポーツ倶楽部 宮の森校
12	近畿	11/3(日) 【予備日:11/4(祝・月)】	C's ラケットクラブ
13	東北	11/17 (日)	山形県総合運動公園内テニスコート
14	関東	11/17 (日)	MIRAI TENNIS ACADEMY 横浜校
15	東海	11/24 (日)	三島市民体育館 文教テニスコート
16	東海	11/24 (日)	DREAM TENNIS ACADEMY HAMAMATSU
予定	沖縄	11/30(土)もしくは12/1(日)で調整中	沖縄県
予定	東海	9月頃	静岡県 (三島市近郊)
予定	近畿	10月頃で調整中	Let'sテニスプラザ西浜
予定	関東	調整中	千葉県 (柏市近郊)
予定	近畿	調整中	ラケットバルテニスクラブ

2013年度 第4回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT (U15) 地区大会会場

【全国大会日程】2014年2月21日(金)～22日(土) (予定)

	地 区	日 程	会 場 名
1	東北	5/18(土)～19(日)	山形県総合運動公園内テニスコート
2	近畿	7/30 (火) 【予備日:8/20 (火)】	紀三井寺公園テニスコート
3	東海	【予定】8/21 (水)	サマーキャンプ (花川運動公園テニスコート)
4	近畿	8/28(水) 【予備日:8/29 (木)】	C's ラケットクラブ
5	九州	8/31 (土)	熊本県民運動公園テニスコート
6	関東	9/14 (土) 【予備日:10/26(土)、11/9(土)】	大磯プリンスホテルテニスコート
7	東海	9/16 (祝・月)	ピスタヴェルデ春日井テニススクール
8	九州	10/5 (土)～6 (日)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
9	九州	10/20 (日) 【予備日:10/27 (日)】	シーガイアテニスアカデミー
10	北信越	11/9 (土) 【予備日:11/10 (日)】	グリーンインドアテニススクール
11	東海	11/24 (日)	DREAM TENNIS ACADEMY HAMAMATSU
12	北海道	11/30 (土)	宮の森スポーツ倶楽部 宮の森校
予定	沖縄	9/28(土)～29(日)で調整中	沖縄県
予定	海外		ロサンゼルス

2013年度 第4回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT (U13) 地区大会会場

【全国大会日程】2014年2月21日(金)～22日(土) (予定)

	地 区	日 程	会 場 名
1	近畿	7/29 (月) 予備日:8/19 (月)	紀三井寺公園テニスコート
2	東海	【予定】8/21 (水)	サマーキャンプ (花川運動公園テニスコート)
3	近畿	8/28(水) 【予備日:8/29 (木)】	C's ラケットクラブ
4	九州	8/31 (土)	熊本県民運動公園テニスコート
5	関東	9/14 (土) 【予備日:10/26(土)、11/9(土)】	大磯プリンスホテルテニスコート
6	東海	9/16 (祝・月)	ピスタヴェルデ春日井テニススクール
7	九州	10/5 (土)～6 (日)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
8	九州	10/20 (日) 【予備日:10/27 (日)】	シーガイアテニスアカデミー
9	北信越	11/9 (土) 【予備日:11/10 (日)】	グリーンインドアテニススクール
10	東北	11/16(土)～17(日)	山形県総合運動公園内テニスコート
11	東海	11/24 (日)	DREAM TENNIS ACADEMY HAMAMATSU
12	北海道	11/30 (土)	宮の森スポーツ倶楽部 宮の森校
予定	沖縄	9/28(土)～29(日)で調整中	沖縄県
予定	海外		ロサンゼルス

2013年度 第2回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT グリーンボール大会 U10 地区大会会場

【全国大会日程】2014年2月21日(金)～22日(土) (予定)

	地 区	日 程	会 場 名
1	近畿	男子:7/7 (日) 【予備日:7/15 (祝・月)】 女子:7/14 (日) 【予備日:7/21 (日)】	Let'sテニスプラザ西浜
2	近畿	男子:7/25 (木) 【予備日:8/8 (木)】 女子:7/26 (金) 【予備日:8/9 (金)】	C's ラケットクラブ
3	中国・四国	7/27 (土)	広島広域公園テニスコート
4	東海	【予定】8/21 (水)	サマーキャンプ (花川運動公園テニスコート)
5	九州	8/31 (土)	熊本県民運動公園テニスコート
6	関東	9/14 (土) 【予備日:10/26(土)、11/9(土)】	大磯プリンスホテルテニスコート
7	東海	9/15 (日)	ピスタヴェルデ春日井テニススクール
8	関東	9/16 (祝・月)	MIRAI TENNIS ACADEMY 横浜校
9	北海道	10/5 (土)	ライジングテニスクラブ
10	九州	10/5 (土)～6 (日)	北九州ウエストサイドテニスクラブ
11	九州	10/20 (日) 【予備日:10/27 (日)】	
12	北信越	11/9 (土) 【予備日:11/10 (日)】	
13	東海	11/24 (日)	DREAM TENNIS ACADEMY HAMAMATSU
予定	沖縄	9/28(土)～29(日)で調整中	沖縄県
予定	海外		ロサンゼルス

※2013年7月8日(現在)の予定です。日程調整中の会場もございますので最新の情報は協会ホームページをご参照ください。

JPTA 能登国際女子オープンテニス

今年で7回目を迎える“JPTA能登国際女子オープンテニス2013”が、9月石川県能登町にて開催されます。

この大会は、海と山に囲まれたアウトドア16面、インドア4面の美しいテニスコートという最高の環境のもと、地元の方々の熱い思いが詰まった素晴らしい大会です。

この豊富なコート面数は、試合に向けて調整を行う選手が存分に練習をすることができ、また能登の美しい自然と地元の方々の温かいおもてなしは、いつも選手たちの心を癒し、テニスに集中できる環境を作り出してくれています。

そんな中、選手たちもその期待に応えるプレーを毎年見せ、地元ファンを喜ばせてくれています。

昨年の大会では日本人選手の活躍が目立ち、伊藤和沙選手がシングルスで初の日本人チャンピオンとなりました。また、準優勝の江口実沙選手は2年連続の決勝進出ということもあり、彼女の気迫あふれるプレーは多くの能登テニスファンの心をとらえています。両選手共、その成長した姿を今年もきっと見せてくれることでしょう。

また、歴代優勝者は若手の新鋭選手からケガからの再起をかけたベテラン選手まで、素晴らしい選手たちが、この大会から世界へと羽ばたいています。



今年も選手たちがどんなプレーを見せてくれるのか、そしてどんなチャンピオンが生まれるのか、今から本当に楽しみです。

また今年も大会期間中の初めの週末(予選全日の土曜日)には、出場選手に協力してもらい、東日本大震災への支援イベント(チャリティーテニストーナメント&Let's enjoy Tennis)を行います。また翌週の週末は、大会も準決勝・決勝と盛り上がっています。多くの観客の皆様にお越しいただきご家族みんなで楽しんでいただけるよう、オンコートではプロテニスクリニック&チビッ子テニス教室、コート外アトラクションでは“やってみんかいね”&“ストラックアウト”、そして地元ふれあい公社からの美味しいお店の出店など、ご家族みんなで来て・観て・楽しめる、そんな愛される大会になってくれればと願っております。

この“JPTA能登国際女子オープンテニス”が能登と石川、そして北陸を代表する国際トーナメントとなるよう、テニスの力で日本中に元気が送れるような、大会にしたいと思っています。

トーナメントディレクター 樽木 聖



■ 能登国際女子オープンテニス2013 試合スケジュール/イベントスケジュール(予定)

日 程	8/31(土)	9/1(日)	9/2(月)	9/3(火)	9/4(水)	9/5(木)	9/6(金)	9/7(土)	9/8(日)
試合予定	設営 プラクティス サインイン	シングルス 予選1回戦 予選準決勝	シングルス 予選決勝 ダブルス 予選決勝	シングルス 本戦1回戦 ダブルス 本戦1回戦	シングルス 本戦1回戦 ダブルス 本戦1回戦	シングルス 本戦2回戦 ダブルス 本戦準々決勝	シングルス 本戦準々決勝 ダブルス 本戦準決勝	シングルス 準 決 勝 ダブルス 決勝 (表彰式)	シングルス 決勝 (表彰式)
開始時間	サインイン 16:00~18:00	9:00	9:30	9:30	9:30	9:30	10:00	11:00	11:00
イベント (予 定)		やってみんかいね							
		ストラックアウト							
	9:30~ チャリティーダブルス トーナメント		観戦学校 (未 定)					9:00~10:30 プロクリニック	
	Let's Enjoy Tennis! ①13:00~13:30 ②14:30~15:00		アルプイベント (未 定)				試合終了後~18:00 9:00~11:00 ジュニアレッスン会 石川県・富山県 Jr		
							9:30~10:30 【テニスの日】 共同イベント 終了~ ボレーボレー大会	9:30~10:30 あつまれ!! ちびっこテニス 体験フェスタ	
							試合終了後~18:00	9:30~11:00 ソフトテニスレッスン会	
その他	絵画コンクール 作品展示								絵画コンクール 表彰式
	写真コンテスト 作品募集期間								

※尚、上記の記載内容は諸般の事情により、変更する場合がございます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

2013 ITF Women's Circuit



JPTA 能登国際女子オープンテニス2013 予選出場者募集!!

■大会名称：JPTA能登国際女子オープンテニス2013

■主催：公益社団法人日本プロテニス協会

■公認：国際テニス連盟 (ITF)、公益財団法人日本テニス協会 (JTA)

■特別後援：能登町

■特別協力：北國新聞社

■協賛：グローブライド(株)、ヨネックス(株)、ブリヂストンスポーツ(株)、(株)ゴーセン、鹿島建設(株)、ナガセケンコー(株)、能登町商工会、一村産業(株)

■後援：石川県テニス協会、北信越テニス協会、テレビ金沢、北陸放送、金沢ケーブルテレビネット、エフエム石川

■協力：藤波運動公園、能登町テニス協会、金沢市テニス協会、日本女子テニス連盟石川県支部、石川県漁業協同組合

ITF WOMEN'S CIRCUIT「JPTA能登国際女子オープンテニス2013」の予選を下記の通り行ないます。本戦32名・予選64名で行なわれる、本大会には国内のトップ選手をはじめ、外国からも多数の選手が出場しています。今回その本戦出場を賭けたシングルの予選トーナメントを、下記の要項で開催いたします。

本戦に出場できるかどうかぎりぎりの選手をはじめ、大学生・ジュニア選手の多数の挑戦をお待ちいたしております。

WTAポイント取得し世界を目指しましょう。

◎日時：2013年9月1日(日) 9:30～

◎会場：藤波運動公園 〒927-0441 石川県鳳珠郡能登町字藤波23-1-1
TEL) 0768-62-3884 FAX) 0768-62-4445

◎種目：女子シングルス <本戦出場最大8名(64名参加時)を選びます>

◎試合方法：ベストオブ3タイブレークセット

◎参加料：US\$40または4,000円(為替レートによります)

◎参加資格：ランキング上位64名(IPIN登録・オンライン登録済者)

◎大会構成：

能登国際女子 本戦32名

US\$25000の大会です。

▲ 8名

能登国際女子 予選64名

ランキング上位者より選考されます。
ここからは8名が本戦に上がります。

※ JPTA能登国際女子予選・本戦に出場される選手の皆様へ

◎本戦・予選に出場する全ての選手は、事前にIPIN登録(無料)しないと出場できません。下記サイトをよく読んでエントリー手続きを行なってください。メールアドレス(携帯は不可)が必要です。またエントリー、ウィズドロー等の大会手続きはインターネットでの「オンラインサービス」がメインとなります。IPIN登録自体は無料ですが、オンラインサービスの手数料として年間45ドルが必要となります。(要：クレジットカード)

◎大会参加希望者は全員ITFのIPIN登録とオンライン登録(45ドル)を予選サインインまでに完了させて下さい。

詳しくはJTAホームページhttp://www.jta-tennis.or.jp/JTA/information/registration/ipin_registration.html

又は、ITFホームページ<http://www.itftennis.com/ipin/> をご参照下さい。

※IPIN登録とオンライン登録を済ませていないと、予選サインインが出来ません。

◎JPTA能登国際女子オープンテニス2013予選サインイン

8月31日【土】 午後4時から午後6時まで

会場：能登町 藤波運動公園

■賞金ブレイクダウン US\$25,000

	SINGLES		DOUBLES (PER TEAM)	
優勝	3,919	50	1,437	50
準優勝	2,091	34	719	34
ベスト4	1,144	24	359	24
ベスト8	654	14	196	14
ベスト16	392	8	131	1
ベスト32	228	1		
予選勝者		1		
予選決勝	126	-		
予選ベスト32	68	-		

■お問い合わせ先：JPTA事務局

TEL: 03-5791-1965 FAX: 03-5791-1966

E-mail: 2013@jpta.or.jp

資質向上委員会より 開催報告

プロテニスコーチとして必要な指導技術の資質向上の為、セミナーを実施しています。
内容は多岐にわたり、プロテニスコーチ同士の意見や情報の交換の場となっています。

(前) 資格認定・研修事業部 部長 富岡 信也
(前) 資質向上委員会 委員長 白戸 仁

- 会 場：四国地区@テニスアリーナガーデン福島
- 日 時：平成25年 2月3日
- 参加者：22名

● 今回は基本的なテニスの考え方、特に物理的に考えて打つショット、技術向上と生徒の矯正方法についてを中心に、私が今までテニスに関して思うことをとりあげました。何が簡単で何が難しいか？難しいことを難しいと分かってやることと、知らないでやり続けることの違い、ラケットの進化にともなう、今までと違う理論をしっかりと伝えました。(フォアのハイボレーから進化したスライスサーブへの導入の仕方など。)またジュニアに教える際の注意点など5時間休みなしの講習でした。後日皆さんから感想のメールをいただきましたが、ほとんどの方が今まで聞いたことがないことばかりと驚いて、受講して良かったと言っていました。私としては全国の皆さんに早く伝えていかなくてはと感じました。



- 会 場：御殿山セミナー
- 日時・参加者：平成25年 2月25日 6 名
- 平成25年 3月18日 12 名
- 平成25年 4月22日 3 名
- 平成25年 5月20日 5 名
- 平成25年 6月20日 9 名

● 今年より事務局のある御殿山トラストのテニスコートを利用して月1回資質向上セミナーを開催しております。人数が少なく、寒い日や雨の日もありましたが、13:00から16:00の3時間、新たな質問がどんどん飛び交い、「有意義なセミナーになりました」と感想をいただいております。これからも毎月開催予定としておりますので、皆様のご参加お待ちしております。



地区会開催報告

神奈川 地区

月例地区練習会 「賞金付」開催報告

神奈川地区では毎月スクール所属の現役コーチの為の練習会を開催しております。勉強をしながら交流を深めています。詳しくは協会ホームページにてご確認ください。

- 試合形式：当日抽選によるダブルス（女性15ハンデあり）
- 試合方法：リーグ戦後、順位別トーナメント
- JPTAポイント：1ポイント



実施日：12月9日 （参加人員：12名）

優 勝：石見卓也コーチ・森 信コーチペア

準優勝：杉山貴子会員・井上泰男会員ペア

実施日：1月20日 （参加人員：14名）

優 勝：廣野信明会員・高橋葉月会員ペア

準優勝：川喜田淳一コーチ・近藤仁会員ペア

実施日：2月10日 （参加人員：18名）

優 勝：浅沼大介コーチ・森 信コーチペア

準優勝：川喜田淳一コーチ・槇橋昭次コーチペア

実施日：3月10日 （参加人員：14名）

優 勝：井上泰男会員・小林祐樹コーチペア

準優勝：石井亮平会員・細谷勝美会員ペア

実施日：4月14日 （参加人員：14名）

優 勝：高橋葉月会員・川邊圭史郎コーチペア

準優勝：石井元治コーチ・森 信コーチペア

実施日：5月12日 （参加人員：20名）

優 勝：森 信コーチ・井上泰男会員ペア

準優勝：杉山貴子会員・吉田将彦会員ペア

実施日：6月9日 （参加人員：14名）

優 勝：細谷勝美会員・森 信コーチペア

準優勝：頼一太郎会員・岩佐健司会員ペア

JPTA ストリートテニスキャラバン 開催報告

株式会社 古川テニス企画 高橋 真人

2012年12月の忘年会、10年前のメリケンフェスタの話題になり、関西でテニスを盛り上げようと再度行うことに決まった。神戸市中央区神戸ハーバーランドに、4月19日に「アンパンマンミュージアム」がオープンする情報を得て、神戸新聞社本社ビル下のイベントスペースを借りることにした。ただ会場費・経費等、どのように捻出するか大きな問題があった。

このイベントの趣旨に賛同し、ご協賛をいただけるよう、テニスクラブ・テニス関係者・企業に声をかけ、14のテニスクラブと4社の賛同を得た。また、神戸市テニス協会副会長望月氏に概要説明をし、協力を快諾して頂いた。

イベント当日（ゴールデンウィーク）、アンパンマンミュージアムオープンのため、ハーバーランドを訪れる多くの家族連れの姿が目立った。トラ・パンダのぬいぐるみを宣伝グッズとして使い、協力クラブのホームページ・電話番号を記載したティッシュを10万個、通行人へ配布した。ブルーのカーペットの上にショートテニスのネットを2面設置した会場においては、レッスン担当スタッフが大いに盛り上げ、参加者が笑顔で「楽しかった!!」「もっとやりたい!!」「久しぶりにテニスをした」と言ってくれた。

此处にレッスンの原点を感じた。また、初心に帰れた。

即効性の効果はないが、老若男女テニスの楽しさ・体を動かし汗をかく心地よさ・家族で楽しめる等、色々なことを伝えられたと感じた。また異なった会社のスタッフが、協力してイベントを盛り上げるこ

により、縦・横の繋がり・仲間意識が出来たと思う。スタッフそれぞれ達成感いっぱい、イベント会場に負けないくらい打ち上げの席でも大いに盛り上がった。やはりイベント後の打ち上げは、外せない。

一番元気だった国仲香織会員がYou Tube (<http://youtuy.Be/EalDIJnLols>) に、イベントの様子をUPしている。《JPTA ストリートテニスキャラバン》は、一過性で終わらすのではなく、継続イベントとして行うべきだ。また関西だけに留まらずに各地区会が、いろいろな場所で行うことにより、ひいてはテニス界を盛り上げることにもなるはずだ。

最後に、大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部 宮本利夫様、中野洋平様、東京ウエルネス株式会社 中村壽継様、プリヂストン株式会社様ありがとうございました。

ご賛同頂いた神戸市テニス協会様、株式会社神戸新聞事業社様、14のテニスクラブ様、スタッフの皆様ありがとうございました。

イベント立ち上げからご協力頂いた古川 彰治理事・山崎章会員・周世康生会員ありがとうございました。

【ご賛同頂いたテニスクラブ】

- ・ITCテニスクラブ・(株)エムエステニスカレッジ・人丸テニスクラブ
- ・ノア インドアステージ・ミズノインドアテニススクール潮声屋
- ・アオノテニスクラブ・コープこうべ協同学苑テニススクール
- ・宝塚テニスクラブ・ブルボン ビンズドーム・ラケットバルテニスクラブ
- ・芦屋グリーンランドテニスクラブ・しあわせの村ミズノテニススクール
- ・テニスアメニティ園田・MARSテニススクール

(有)パーテックス河内庭球倶楽部 鈴木 和憲

日本プロテニス協会主催としては初イベント《JPTA ストリートテニスキャラバン》を、5月3・4日に神戸市テニス協会の協力のもと神戸市ハーバーランドにある神戸新聞社本社ビルイベントスペースで行いました。イベントスペースにカーペットをひき、其の上にショートテニスのコートを2面設置しました。

- ①参加受付 ②着ぐるみを着ての呼び込み ③ティッシュ配り
④参加者とラリー ⑤ボール拾い(車道に出ないように)

上記内容を、初日17名・2日目23名のスタッフで回していきました。初日は、なかなかお客様の出だしが遅かったものの、家族での参加・10年ぶりにラケットを握る方・カップル・車いすの方まで、老若男女様々な方が参加されました。イベント参加後は、ご協賛いただきました大塚製薬株式会社より頂いたイオンウォーターのプレゼント。

2日目は、要領が分ってきたので円滑にイベントを進めることができました。お客様の入りも良く、列が途絶えることがなかったです。2日間で約800名の参加者。充実した2日間でした。

今回のイベントで2つのことを学び、心に残りました。

- ①普段では関わる機会が少ない他の会社の方々と繋がりができ、いろいろと情報交換ができたこと。

②沢山の笑顔と出会い、人との繋がりがとても大切だと感じたこと。

テニスコーチは、沢山の出会いがあり、自分自身を成長させる良い職業だと改めて感じました。

またこのようなイベントが定期的に行われることにより、テニスが身近なスポーツになるとともに、テニスコーチにとって原点に戻る有意義な時間になると感じました。

最後になりましたが、古川理事・高橋会員・山崎会員・周世会員・スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

地区長会議報告

平成25年度地区長会議が4月22日(火)に事務局会議室にて行われました。
各地より10名(代理出席含む)のご参加をいただきました。

各地区の活動報告

●北海道・藤原幹事

地区会を開催しておらず、幹事会は年2回開催している。

●東北・門脇地区長

ニュージェネレーションテニス、U15の大会を毎年恒例として山形の会場を借りて実施。

●北信越・安間地区長

ニュージェネレーションテニスをここ数年間富山、石川で開催している。

●東京・渋谷地区長

昨年は地区会活動がなかった。

●神奈川・大貫地区長

毎月1回地区練習会を実施。参加者は平均16名。

●東海・柴田地区長

年2回程地区会を開催(1月、8月程を目処)。毎回約20名参加。昨年は9月に安全管理講習会、1月は地区幹事に講師を依頼し、講演会を開催した。

●関西・林地区長

昨年12月にワークショップを実施。参加者は6名。今年度も12月に実施予定。平成24年度は安全管理講習会と新年会を兼ねて地区会を実施。参加者は30名位。

5月3日、4日に神戸ハーバーランドでストリートテニスを兵庫県協会と共催する。

●四国・井澤地区長

地区活動として幹事会を年2回開催。今年1月にワークショップを開催し、その際午前中に安全管理講習会、午後白戸理事のセミナーを実施した。ジュニアの参加もあり(4名程度)。

今後はスカウトキャラバン、テスト、講習会実施予定。

●中国・藤田幹事

広島でスカウトキャラバンを昨年9月実施。今年は「テニスの日」に予定。本年度に夏頃にワークショップを開催予定。

●九州・石津地区長

昨年9月に地区会を開催した際、若年の会員が初めて出席してくれた。今後、地区会というネーミングではなく育成イベントとして実施することを計画している。本年度は6月10日にワークショップを実施予定。

平成25年・26年度

地区長・幹事就任のご挨拶

北海道 地区

地区長：藤原 弘明
幹事：佐藤 雅則・盛永 英明・笹島 誠悟
山崎 遊馬・細田 基次



今年3月に北海道地区の会員を対象に安全管理講習を行いテニスのレッスン中に起こりうる事故の事例や施設管理について学ぶことが出来、今後のスクール運営に役立つ情報を知ることができました。

今後の地区活動として、コーチングのレベルを上げるセミナーを開催したいと考えております。

北信越 地区

地区長：安間 保行



JPTA会員の皆様、こんにちは。

今年度、北信越地区の地区長を務めさせていただきます。福井県の安間保行です。昨年に引き続き、北信越地区長を務めさせていただきます。前回は、諸事情等で活動できませんでした。正直、北信越地区でJPTAに加入している皆様方を把握しておらず、出来るだけ早く会員間の交流を深めていけたらと考えているところであります。

まず、今回は北信越地区のJPTA会員の皆様に、アンケートをとりたいと考えています。そして、地方では何をしたら良いか、何をしたら喜ばれるのかを検討し少しでも盛り上げ、今後の活動に生かしていきたいと思っています。

今後とも、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

東北 地区

地区長：門脇 章
幹事：本間 久義・高内 博之



前年度に続き今年度も東北地区地区長を担当します宮城県の前脇章と山形県の高内博之幹事、本間久義幹事です。宜しくお願い致します。現在、東北6県の内、実際に会員登録されている県は、宮城県(2名)、山形県(2名)、福島県(6名)、秋田県(3名)、岩手県(1名)の5県(14名)ですが、山形県の2名を除き11名とは話をする機会もなく残念でありこれを機会に連絡を頂ければ幸いです。

東北地区の活動内容は、トーナメント部門①U-10(グリーンボール)②U-13・U-15(男子・女子シングルス)とニュージェネレーションジュニアスカウトキャラバンです。東北地区の活動は、現在山形県の高内幹事が中心となり山形県で活動を行っております。

東京 (山梨・栃木・群馬・茨城) 地区

地区長：渋谷 一義
幹事：白倉 明博・成田 大地



東京地区の地区長をさせていただいてる渋谷一義と申します。江東区にあるTOPインドアステージ亀戸にて勤務しております。昨年度は、地区会としての活動を実施することができませんでした。本年度は、近隣の地区とも連携して講習会を実施していきたいと考えております。

その他、地区会の活動に関して、皆様のご意見がございましたら是非ご提案ください。

皆様と力を合わせてより良い地区会にしていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

神奈川 地区

地区長：大貫 弘二



神奈川地区地区長の大貫です。
神奈川地区では、毎月1回、近隣のコーチと交流を図る目的で、気軽に参加できるコーチ練習会を行っています。
内容と致しましては、各スクール所属の現役コーチを対象に参加を募り、ダブルスの試合をしながら、神奈川地区で普段はなかなか会う事の出来ないコーチ達とディスカッションし、テニスのスキルアップを図っています。試合終了後には、オンコートを離れ、別の場所で、お互いの情報を交換し、更に新しく交流の輪を広げる懇親会の場を設けています。
参加者の年代や、所属スクールの形態もさまざま、毎回交流していく中で、常に新鮮で、新しい刺激を受けるひと時となっています。
今後も、沢山のコーチに参加していただき、色々と交流を図りながら、神奈川地区を盛り上げて行ければと思っていますので、是非皆様のご参加をお待ちしております。

埼玉 地区

地区長：菅原 大輔
幹事：小川 大輔



前年度に続き今年度も地区長を担当します地区長の菅原、幹事の小川と申します。
現在のところ会員の方とは、なかなか交流がございませんが、今後地区会活動を機会に連絡を頂ければ幸いです。
埼玉地区の活動内容は、安全管理講習会です。今年の秋に東京地区と合同で企画しておりますが、これをきっかけにセミナー等実施していければと考えております。

関西 地区

地区長：林 浩司
幹事：古川 彰治・小倉 英司・堀川 圭輔



関西地区地区長の林浩司です。これまで関西地区会では、セミナー、ブラッシュアップ、ワークショップ、安全管理講習会など協同行事をサポートしてきました。地区会主催の行事としては、年に数回セミナー、講習会の開催後に地区会と親睦会を開催しました。今年は5月に以前から古川前理事と有志の方々が企画開催されていたストリートテニスを地区会として協力させていただきました。今後の活動としましては、秋頃にブラッシュアップ、12月にワークショップを計画しております。これからも地区会活動にご意見ご協力をよろしくお願いいたします。

四国 地区

地区長：井澤 義治
幹事：青木 宏道・亀代 大輔



四国は4県で、アクティブなメンバーは少人数ながら、東の徳島はテニス普及への取り組み姿勢において、熱く、元気です。
資格認定講習会・プロテスト・NGTは勿論、不定期ながら、資質向上セミナー等も開催しながら、地域の皆様に有益な情報提供ができます様、そしてJPTAが地域テニス界のメジャーな活動として認知されます様、日夜頑張っています！
メンバー間のご縁を深めたく存じますので、四国で活動されているメンバーの皆様、井澤地区長又は青木・亀代幹事まで、ご連絡をお待ちしています。

千葉 地区

地区長：桑原 崇



千葉地区長を務めることになりました桑原 崇と申します。
総合スポーツクラブのメガロスにて勤務しております。
近隣の地区とも連携して講習会や練習会を実施していきたいと考えております。
その他、地区会の活動に関して、皆様のご意見がございましたら是非ご提案ください。
皆様と力を合わせてより良い地区会にしていきたいと思っております。また、プロテニス協会各委員会との連携を図ると共に、事務局とのコミュニケーションもしっかりと取っていききたいと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

東海 地区

地区長：柴田 優子



東海地区長を務めさせて頂いております柴田優子です。現在、東海地区では、会員同士のつながりを図るため、また様々な情報提供・把握の場、さらに会員の皆様に役に立つ勉強会などを目的とし、年に2回(8月、1月)懇親会を含めた東海地区会を開催しております。まだ東海地区会に参加されていない方は是非ご参加頂き貴重なご意見や情報等頂きたいと存じます。皆様のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。
*今回は9月2日夕方からを予定しています。

中国 地区

地区長：梶下 欣昭
幹事：大下 貴・藤田 美和



中国他4県との連携を取れるように、各県から幹事を求めるように取り組みたいと考えています。
活動としては、スカウトキャラバン、JPTAトーナメントの参加者を増やし浸透させると共に、普及活動をしたいとも考えています。
特にグリーンボールの大会、レッスンなどが定着し…キッズのテニス人口が増えれば、錦織 圭選手のような人材が出る可能性も膨らみます。中国地区から、世界へつながればいいですね。
近年、テニスを始める人口も減り続けてます。全国各地の情報を交換しながら、普及事業が出来たらと思います！
よろしくお願いします！

九州 地区

地区長：石津 吏
幹事：小野 修七郎・井上 文士・津崎 哲也
豊留 俊一・源河 朝哉



九州地区は、北は福岡から佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島と南は沖縄まで8県あります。地区会として集まるのに沖縄は飛行機で来なければならないという簡単には集まらない地区です。そんな中、年一度は地区会をしておりますが参加者が少なく、今年は秋にイベント(スクール生対抗戦)を企画し楽しく参加してもらいたいと思っています。九州の会員の方、盛り上げていきたいと思っていますので案内が来ましたらよろしくお願いします。

会員人物紹介では理事、地区長、幹事の皆様からの情報を基に、各地区で活躍している会員をピックアップし紹介します。

今回は東海地区より余語敏彦理事に2名の会員をご紹介いただきました。

JPTA会員人物紹介



今回、それぞれ立場の違う2人の会員を紹介します。

1人目は、現在7店舗のインドアテニススクールと文化教室、音楽教室そして学習塾等を多角的に展開するロングウッドスポーツ(株)の岡部幸人会員です。ロングウッドスポーツ(株)が大きく飛躍した立役者の一人であり、テニスの日に運動会を開催し、イベントには屋台村を行なう等テニスにとられない柔軟性に満ちた発想の持主です。

2人目はメガロス浜松の契約コーチで活躍している石田潤三会員です。柔道整復師の資格を修得して、現在レッスンのかたわら柔道整復師としての仕事も行ないリスク軽減を実践している人物です。

理事 余語 敏彦



岡部 幸人会員

はじめまして、ロングウッドスポーツの岡部幸人と申します。ロングウッドスポーツは愛知、岐阜、三重、奈良、徳島に合計8会場のテニススクールやカルチャースクールを主に展開しています。私は主に、ロングウッド長久手(愛知県)とロングウッド多治見(岐阜県)で老体に鞭を打ちながら、大きな声&さわやかな笑顔でスクールを担当しています。20代の頃から比べるとレッスンの数は少なくなりましたが、それにしても、テニスは楽しいですね。正直言って、会議やデスクワークしているとストレス溜まるんですよね。その点、仕事とはいえレッスンしていると楽しい!体を動かして、汗かいて、大きな声出して、そして給料もらえるなんて、なんて良い仕事なんでしょう。皆さんもそんな風に感じた事ないですか?コーチという立場はさておき、こんな楽しいテニスを、週に1回どころか、まだ体験したことのない人が世の中には沢山いるんですよね。無限の可能性を秘めたキッズやジュニアがテニスの楽しさを実感してくれる事も大切に思いますが、私のような40代後半から60代ぐらいの中高年の方々が心と体の健康の為にテニスを週に1回でもやり、体を動かし汗をかき、家庭や仕事場から離れた仲間をつくる事にお役にたてる仕事って、すごく遣り甲斐のある仕事ですね。そんな事をこの年になってつくづく感じます。

そこで最近出会ったのが「エクササイズ量」です。自分のマラソン練習の為に用意した「活動量計」をよく調べてみると、エクササイズ量という文字に出会いました。2006年に厚生労働省が「健康づくりのための運動指針2006

(エクササイズガイド)」を作成しました。身体活動の強さを「メッツ」、量を「エクササイズ」という単位を使い、1週間に23エクササイズの活発な身体活動を目標にしてメタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクを回避する事に役立てましょうと掲げています。興味がある方はご自分で調べてください。きっと、レッスンの中でも役立つと思います。ちなみに、ロングウッド長久手では、過去に数回「2時間エクササイズテニス」という運動量重視型のレッスンをイベントとして開催しました。活動量計を貸出ししてレッスンの前に各自で腰に装着します。レッスン中や終了後に実際にどれだけ動いたかが数字で確認できます。歩数や消費カロリーはもちろん、運動の質や移動距離、そしてエクササイズ量が計算されて表示されます。ついつい数字が目に出てくると、みんな普段より余計に走ったり、飛んだりしてしまいます。運動効果バツグンです。今後も随時開催していこうと思っています。皆さんの所でも楽しそうなイベントあったら是非紹介して下さい。テニス業界、みんなで盛り上げていきましょうね。

<プロフィール>

- ①テニス歴 35年
- ②コーチ歴 28年
- ③ライセンス
JPTA/USPTA認定プロフェッショナルI
(公財)日本体育協会 公認テニス教師
(公財)日本スポーツクラブ協会 子ども身体運動発達指導士
- ④趣味 山菜採り
- ⑤レッスンのモットー 楽しく上達
- ⑥好きな言葉 フロンティア・スピリッツ(開拓者精神)





石田 潤三会員

会員のみなさまはじめまして。
私は浜松のメガロスインドアテニススクールでコーチをしております石田潤三と申します。

またメガロスのスポーツクラブにて接骨院を経営させていただき、院長をしております。

大学時代に札幌のテニススクールでコーチの勉強をさせていただき、テニスのすばらしさ、コーチの奥の深さにひかれこの世界に入りました。20代後半にテニスと身体の関係の重要性を認識し柔道整復師の国家資格を取得しました。コーチとしてテニス技術だけでなくメディカルサポートも行い、エビデンスに基づいたアドバイスができるように心がけております。

接骨院では主にスポーツ外傷・障害と交通事故治療を専門におこなっております。

テニスコーチと接骨院は密接な関係があり、テニススクールの生徒さんは競技者、愛好者に関わらずほとんどの方が技術と身体に悩みを抱えていらっしゃいます。生徒さんの悩みは様々ですが最も頻繁に起きる外傷・障害はテニス肘(上腕骨外側上顆炎)です。初級者のテニス肘は様々な要因がありますが、当院ではフォアハンドストロークからバックハンドストロークおよびバックハンドボレーに移

行する際に上手くグリップチェンジできていない方に多いようです。上手くグリップチェンジができていないと力強いボールが打てないだけでなく、間違ったグリップのままオフセンターで打ち続けることにより繰り返し伸筋群が引き伸ばされ、筋付着部に微小断裂が起こり、痛みが発生しているようです。またそうならないように正しいグリップとフォームを指導するだけでなく、手関節伸筋群の正確なストレッチ、前腕だけでなく体幹の筋力強化、ラケットガットの選定等アドバイスさせていただいています。

筋付着部は血流に乏しいため治療して治癒するまでに数週間～数か月かかることがあります。よって生徒さんの健康を守り、楽しく継続した練習をする機会を与えるのは我々コーチの腕にかかっているともいえます。

以前協会の先輩にコーチの役割は大切な人をその人が望むところまで送り届けることであると教えていただきました。私は生徒さんとともに歩み、生徒さんの目標に向かってできるだけ多くことをサポートできるようなコーチを目指してゆきたいと思います。

<プロフィール>

- ①テニス歴 20年
- ②コーチ歴 14年
- ③ライセンス JPTA/USPTA プロフェッショナル2
- ④趣味 旅行



協会ホームページが
リニューアル
いたしました!

コーチ紹介のページに皆様の活動内容を掲載しませんか?

掲載の申請をいただいた会員様のコーチ・スクール情報を公開いたしました。掲載申請をされていない方は、是非この機会にJPTAホームページをご活用ください。現在、掲載されている方は、掲載を今一度ご確認いただき最新情報のご申請をお願いいたします。



詳細はJPTAホームページより
ご確認をお願いいたします。
変更は会員サイトよりご申請いただけます。



《所属先》

現在のご勤務先をお知らせください。

《プロフィール/フリーコメント》

自己紹介・現在の情報等 会員様ご自身で自由にコメントいただけるスペースです。

文字数：～300文字(目安)

《心がけ・モットー》

レッスン時に心がけている事や、モットー、あなたのコーチとしてのポリシー等をお知らせください。

文字数：～300文字(目安)

《その他の資格エリア》

JPTA、USPTAの資格以外に他団体の資格などを記載いただけます。その他：[委員]アイコン：役員・地区長・委員・テスターなどのJPTAの活動役職が表示されます。

《顔写真》

ご自身の顔写真を下記メールアドレスに添付して事務局までご送付ください。

※必ずフォルダ名に会員番号とお名前をご記載ください。

【ご提出方法】 データの添付ファイル名/フォルダ名には必ず「会員番号・お名前」をご記載ください。

【ご提出先】 jpta-info@jpta.or.jp

プロテスト委員会
プロテスト (UPテスト)
資格昇級者

日 時: 2012年11月18日 (日)・19日 (月)

会 場: 北九州ウエストサイド

受験者数 (新規含む): 7名

会員番号	氏 名	資格	勤務先
2862	荒井 英樹	P1	ピスタヴェルデ春日井

資格認定研修事業部 2013年度スケジュール (資格認定講習会・プロテスト)

	講 習 会		プロテスト	
	UPは「既に会員の方」、新規は「会員ではない方」が対象です。 新規&UPと同時開催の場合、UPは1日目のみとなります。	締切日	1日目は筆記とグリップ、2日目はアナリシス、打球、 グルーブレッスン、プライベートレッスンになります。	締切日
9月	UP 関西 MTP登美丘 (大阪) 3 (火)	8月8日		
10月	新規 四国 アリーナガーデン (徳島) 9/30 (月)・1 (火)	9月3日	関東 TOPインドア亀戸 (東京) ※1日目は協会事務局 3 (木)・4 (金)	9月4日
	新規 UP 九州 北九州ウエストサイドテニスクラブ (福岡) 21 (月)・22 (火)	9月20日	関西 アオノリゾート (兵庫) 6 (日)・7 (月)	9月6日
			東海 ロングウッド長久手 (愛知) 13 (日)・14 (月)	9月13日
			四国 アリーナガーデン (徳島) 27 (日)・28 (月)	9月27日
			北海道 宮の森スポーツ倶楽部 30 (水)・31 (木)	9月30日
11月	新規 関東・東海 つま恋 (静岡) 5 (火)・6 (水)	10月10日	九州 北九州ウエストサイドテニスクラブ (福岡) 17 (日)・18 (月)	10月18日
2014年 1月	UP 関東 メガロス神奈川 (神奈川) 17 (金)	12月25日		
	新規 UP 関西 アオノリゾート (兵庫) 27 (月)・28 (火)	1月7日		
2月			関東 (千葉) 日程・会場 調整中	

【お問合せ】公益社団法人 日本プロテニス協会 資格認定研修事業部 TEL: 03-5791-1965 FAX: 03-5791-1966
〈受付時間〉9:00~18:00 (土、日、祝日は休業日です)

新入会会員挨拶

※ 入会手続完了の新規会員様

氏 名	資 格	
勤 務 先		
小島 鉄平	プロフェッショナル3	この度、入会させていただくにあたり、試験を受けたことによって新たな発見があり、自分の向上心にも繋がりました。学んだ事を日々のレッスンにも生かし、自分のテニスにもプラスしていけるよう、日々努めています。
宮の森スポーツ倶楽部 苫小牧校		
龍 一気	インストラクター	私はJPTA認定インストラクターとして立派なプロテニスコーチになりたいと思います。そして今年からアメリカへ行くのでこの資格を大いに活用し、国際的なコーチになりたいです。また、将来はアメリカと日本のテニス交流の場を作り、多くの日本人、アメリカ人テニスプレイヤーの育成に励みたいと思います。
福岡外語専門学校		
厨 勇武	インストラクター	今回はインストラクターという結果だったので、今後しっかりと勉強をして昇級できるように一生懸命頑張りたいと思います。自分は何事にも最後までやりきることが得意です。これからテニスコーチとしてプロで活躍するJrを育てたり、大人の人たちも楽しませたいと思います。そして自分も有名になれるように努力していきたいと思っています。
26T-style / 福岡外語専門学校		
比嘉 要	プロフェッショナル3	私は将来、公務員になるつもりですがこの資格を通じでテニスに関わることが出来ればと思います。それは、コーチングだけではなく販売やその他のテニス関連にこの資格を役立てたいということです。その際にコーチングでは抽象的にならずに実践して見せる事、販売などでは豊富な知識を生かしていきたいと思っています。
福岡外語専門学校		
平川 公理	インストラクター	これからはプロテニスコーチの自覚を持ちレッスンを頑張っていきたいと思っています。また、最終目標はP1なので日々しっかり練習やレッスンをしていこうと思っています。
福岡外語専門学校		
小川 幸一郎	プロフェッショナル3	このたび新規会員となりました小川幸一郎と申します。1977年新潟県弥彦村で生まれ静岡県沼津市で育つ。幼稚園でサッカーを始め小学校は父が監督をするソフトボール少年団へ、中学では球拾いが楽しそうと思い軟式テニス部に、しかし先輩の球拾いが嫌でレギュラーを目指し練習に励む。高校で硬式へ。テニスが大好きになる。テニスでたくさんの方が人生を豊かに過ごしていただくお手伝いをしていきます。よろしく願いいたします。
シンコースポーツ株式会社 スポーツ教室 ハビブルテニスクラブ		
濱田 洋史	プロフェッショナル2	この度、JPTAに入会させていただく事になりました濱田洋史と申します。2006年に夢であったテニスクールをオープンし、以降選手育成に力を注いできました。今回JPTAの入会を機に自身の夢を加速させ、更に日本のテニス界に少しでも協力できればと思っています。会員の皆様、今後ともご指導の程よろしく願いいたします。
株式会社ドリーム / DREAM TENNIS ACADEMY HAMAMATSU		
宮下 真弥	プロフェッショナル3	この度、資格認定講習会・プロテストを経てJPTA/USPTA認定プロフェッショナル3に合格できました。今回はP3でしたが、「どうせ取るなら上まで」と自分は思っており、これからも日々勉強しUPテストを受け、P1まで目指したいと思ってます。晴れては土井洋講師のように寛大な心でこれからプロテストを受ける方々のサポートをできたら良いなと思ってます。土井講師との約束を実現するためにも、頑張ります！
万博テニスガーデン		
大木 輝宣	プロフェッショナル3	愛知県豊橋市にあります、スーパーフィッツスポーツの代表取締役をしております大木輝宣と申します。この度、JPTAに入会させて頂き嬉しく思います。コーチ歴は20年以上ですが、より質の高いレッスンをしたいという思いから今回の資格取得に挑戦させて頂きました。JPTAの勉強をしたことで、今まで以上に気付く事も多く、よりレッスンが楽しくなりました。常に向上心を持ちレッスンに臨みたいと思います。よろしく願いします。
豊橋スーパーテニス(有) / スーパーフィッツスポーツ		
小山 真吾	プロフェッショナル2	テニスコーチの経験は、まだ浅いですが、テニスの理論を日々勉強し、そしてそれを考察しながら実行していくことによってテニスは上達するものだと思っていますので、これからも日々勉強して理を突き詰めていきたいと思っています。そしてその理論をテニスクールのレッスンの中では、お客様と一緒に楽しみながらそしてわかりやすく伝えていきたいと思っています。
Ken'sインドアテニスクール四街道		
町田 玄毅	プロフェッショナル3	テニスの楽しさは、しっかりボールを打てた時の感触や思い通りのコースに打てた時、こんなショットが打てるようになったなど上達するたびに喜びがあると思います。その上達の手助けになれるようにまた、たくさんの方にテニスの素晴らしさを伝えて行けるように日々努力してまいります。皆さんでテニスを楽しみましょう。
タムラクリエイト株式会社		
新木 佑輔	プロフェッショナル3	新たにJPTAの新入会員になりました。これからは、よりテニス発展の為に努力していこうと思っています。よろしく願いします。私のテニススキル、レッスンスキルも向上させていき、多くのお客様に喜んでいただけるようなコーチを目指していきます。
Ken'sインドアテニスクール成田		
鈴木 啓介	インストラクター	15年、ジュニア選手育成のコーチをしてきました。今まで、全国大会へ出場する多くの選手を育てましたが、残念なことにプロになるような選手は1人もいません。この度、JPTAに入会し、プロ意識を持ってテニスコーチの勉強をしたいと思っています。そして、プロの選手になりたいと夢見るジュニア達の役に立てるコーチになります！
ドリームテニスアカデミー浜松		
島浦 亮	プロフェッショナル2	この春からJPTAに入会させていただく島浦と申します。入会のきっかけは、自分のテニスの指導に対して、疑問を感じたからです。入会をし、様々な方と出会い、たくさん勉強できたらと思います。未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。
ミスノテニスクール坂戸		
小松 佳南	プロフェッショナル3	小学生の時にテニスと出会い約15年が経ちました。職業としてテニスコーチをするとは思っていませんでした。しかし、私にとって一番身近な職業で尊敬出来る方もテニスコーチでした。私も同じ道に進み、今回プロテニス協会の資格を取得出来た事を嬉しく思います。少しでもお客様のテニス上達に貢献できるように精進していきます。
クリスタルプランニング・パラディ、テニス&ゴルフ鳳		
塩野 喜之	プロフェッショナル3	株式会社クリスタルプランニングに所属し、ル・パラディ、テニス&ゴルフ鳳に勤務している塩野喜之です。テニスコーチ歴は3年目とまだまだ経験不足ですが、今回プロフェッショナル3の資格を取得したことで、「プロコーチ」としての自覚を持つと共にそれに恥じない力量を持てるよう日々精進していきます。自分のコーチとしての合言葉は、「楽しく上達」です。誰よりもまずは自分が楽しんでテニスをしていきたいです。
クリスタルプランニング・パラディ、テニス&ゴルフ鳳		
祖開 知沙及	プロフェッショナル3	中学の時に軟式テニス部に入ったのがテニスと出会ったきっかけです。すぐに硬式のスクールにも通い始め、以来「テニスが恋人」という夢夢中になり、コーチ職にあこがれるようになりました。大人に混ざってわいわいとするテニスが大好きで、コーチとなった今は、その時のようにたくさんの方にテニスを楽しんでもらうのが目標です。今回のテストを機にさらにスキルアップを目指し、そしてたくさんの人との出会いを楽しみにしています。
クリスタルプランニング・パラディ、テニス&ゴルフ鳳		
片山 雅貴	インストラクター	この度、JPTAに加入させて頂きありがとうございます。今回は認定インストラクターでの入会になりますが、今後、P3、P2、P1と資格の昇級にも努めていきたいと思っています。私自身テニスは老若男女問わず楽しむことが出来る素晴らしいスポーツだと感じておりますので、これから講習会や研修セミナーにも参加し、より多くの方々にテニスというスポーツの楽しさを伝えられる様、努力いたします。よろしく願いいたします。
クリスタルプランニング コープこうべ 協同学苑テニスクール		
齋藤 友貴	プロフェッショナル3	私は笑顔と明るさを忘れず、常にテニスを楽しんでもらえるレッスンを心掛けています。まだコーチとして経験も知識も浅いですが、今後はプロコーチとしてコーチの勉強会に参加し、学んだ知識をレッスンに活かしてより多くの人にテニスの楽しさを伝えていきます。
クリスタルプランニング 高槻校		
大森 太郎	プロフェッショナル3	大阪のクリスタルプランニングでテニスコーチをしています、大森太郎です。テニス歴は5年、コーチ歴は3年目になります。経験不足で至らぬ点も多いですが、プロテニス協会の一員になったからには誇りを持ち、日々初心と向上心を忘れないようにしていきます。お客様の笑顔の為に尽くしていきたいと思っていますので、よろしく願いします。
クリスタルプランニング 高槻校		
小笠原 拓也	プロフェッショナル3	この度、プロフェッショナル3を取得させていただきました。今回資格を取得できたのは色々な方々の助けがあったからです。まだ自分には、未熟な面も、至らないところも多いですが、これからも自分の技量を上げていきたいと思っています。そして、最終的にはプロフェッショナル1を取得する事を目指して頑張ります。これからよろしく願いいたします。
アミティーテニスクール		

会員サービス委員会より お知らせ

JPTAでは、会員価格でのグッズの販売や
会員サービスを行っています。

JPTAのぼり旗 3種：W600×H1800

現在は3種類での販売をしておりますが、「配色・文言」等会員の皆さまの声を反映させていただき、今後は種類を増やしていく予定です。ご意見をお待ちしております。



赤

緑

販売 会員価格にてご購入いただけます。

JPTAロゴマーク入り ブリヂストンスポーツ オフィシャルボール

毎月末日締切：3か月後納品
(例：7月末締切 ▶ 10月 納品)



JPTA (USPTA) マーク入りの名刺

※保持資格により異なります。
※準会員様用名刺もございます。



※印刷受付を平成25年6月より開始いたしました。
※詳しくは下記または協会ホームページ会員サイト
インフォメーションページをご確認ください。

～ JPTA 名刺 印刷受付のご案内 ～ (1セット100枚入)

※名刺台紙のみご注文の方は、別紙発注書になりますのでご注意ください。



※イメージ：JPTA/USPTA 資格取得会員の場合

＜ 注意事項とお願い ＞

- ・印刷は片面のみとさせていただきます。
- ・受付は、セット購入の場合のみとなります。
- ・フォーマットが決まっておりますので、注意事項をご確認の上、ご注文いただきますようお願いいたします。
- ・校正の確認をしていただくためメールアドレスは必須です。
- ※但し、校正の回数は1度のみとし、FAXでの校正確認は対応致しかねます。
- ※増刷の場合（修正がない場合のみ）は、事務局までご相談ください。
- ・記載項目が多く、記載が難しい場合は、事務局よりご提案ご相談させていただく場合がございます。また、在庫状況により、お時間いただく場合がございます。予めご了承ください。

【受 付：毎月末日締切 / 校正出し：2週間前後】

【納 品：校正の確認お戻しより約2、3週間前後】

例：5月18日受付→6月中旬頃校正確認依頼→6月下旬～7月上旬お届け

※納品期間は、あくまで目安となります。受付状況により早まる場合もございます。

＜ お申し込み方法 ＞

上記＜注意事項とお願い＞をよくご確認いただき、ご提出ください。

■メールでのお申し込み窓口：jpta-info@jpta.or.jp

必ず名刺発注のご希望と右記項目の記載をお願いいたします。また、記載がなくご連絡が出来ない場合などは、対応致しかねますので予めご了承ください。

■会員サイト：お問い合わせフォームより

会員サイトのお問い合わせフォーム『その他』よりお申し込みください。なお、『お問い合わせ内容』に必ず右項目（必須項目含む）の記載をお願いいたします。

印刷込み：3,490円 ※台紙／送料／税込
台紙金額：1,260円 ※送料／税込

下記条件以外の場合は、別途お問い合わせください。
仕様により金額は異なります。※6,000円（目安）～要相談

＜ 校正確認のためのご連絡先 ※必須 ＞

- (1) 会員名
- (2) 会員番号
- (3) メールアドレス
- (4) 電話番号
- (5) 送付先住所
- (6) 申請者（ご本人でない場合）
- (7) ご請求先（個人様名以外にご希望がある場合のみ）
- (8) 個数（1箱100枚入）

＜ 名刺記載項目 ＞

- (1) 資格名 または 役職名 ※4行まで
※会員規程により、JPTA/USPTAの認定資格は、下記表記となります。
正式名称：(公社)日本プロテニス協会認定 プロフェッショナル1
もしくは、JPTA認定 プロフェッショナル1 ※USPTA同様

- (2) 氏名
- (3) 勤務先／所属先名
- (4) 住所
- (5) 電話番号 ※名刺上の表記は『TEL』となります。
- (6) FAX
- (7) 携帯番号 ※名刺上の表記は『携帯』となります。
- (8) E-mail
- (9) URL

◆不要な項目がある場合は、項目名の後に不要とご記載ください。

例) (7) 携帯番号：不要

◆資格名または、役職名は最大4行となります。勤務先、所属先等の記載項目が多い場合は、E-mailとURLを1列、TELとFAXを1列とさせていただきます。『TEL/FAX』の場合、『携帯』も1列可) 予めご了承ください。

【購入について】 必要事項をご記入の上、事務局までFAXしてください。
申込書は協会ホームページよりダウンロードしていただけます。

※別途送料が必要となりますので
ご了承ください。

【その他】

■慶弔見舞金制度により見舞金を受けることができます。

(③入院以外のご要望により会報掲載もさせていただきます。)

※ 発生日より3ヵ月以内(③入院は退院日より3ヶ月以内)の申請が必要となります。
申請書は、ホームページにてご案内しております。

- ①結婚祝い金 (20,000円)
- ②出産祝い金 (第1子：10,000円、第2子以降：5,000円)
- ③1ヶ月以上の入院 (10,000円)
- ④会員死亡 (100,000円)
- ⑤親族死亡 (弔電)

■JPTAホームページ上に写真とプロフィールを公開することができます。

■JPTA主催のセミナー、イベント、コンベンション等に会員価格にて参加することができます。

その他、テニスに関する保険や共済制度、JPTAオフィシャルスクールの名称使用など(要申請・認定)、多数ご用意しております。
詳しくは、JPTA事務局、または協会ホームページにてご確認ください。

JPTAコンベンション2013

— 初の名古屋での開催が決定！ —

JPTAコンベンション2013の開催が
決定いたしましたのでご案内申し上げます。

開催日：平成25年11月25日(月)・26日(火)

25日(月)《1日目》

会 場：ANAクラウンプラザホテル
グランコート名古屋
〒460-0023
愛知県名古屋市中区金山町一丁目1番1号

26日(火)《2日目》

会 場：東山公園テニスセンター
〒468-0071
愛知県名古屋市天白区天白町大字八事
字裏山60-19

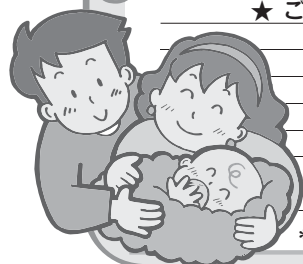
詳細のご案内、お申し込み開始は、8月中旬以降となります。今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。



【写真】
JPTAコンベンション2012

おめでた	★ ご結婚	平成25年 1月10日	横田 学 会員 横田 久子 さま	おくやみ
		平成25年 4月22日	萩森 裕紀 会員 萩森 倫子 さま	
		平成25年 5月11日	折笠 友彦 会員 折笠 裕美 さま	
		平成25年 5月29日	井上 翔平 会員 井上 真弓 さま	
	★ ご出産	平成24年11月 2日	山内 正和 会員 彩瀬 (あやせ) ちゃん	
		平成25年 1月 7日	服部 高久 会員 莉希 (りの) ちゃん	
		平成25年 2月12日	音喜多 秀顕 会員 佑二郎 (ゆうじろう) くん	
		平成25年 5月 8日	深谷 典央 会員 夏子 (かこ) ちゃん	

申請方法 JPTA会員サイトより正会員慶弔届(PDF)をダウンロードし後、JPTA事務所へ郵送してください。尚、慶弔金の申請は発生日から3か月以内となります。



JPTA HOT NEWS

～協会情報メール配信サービスのご案内～

登録
受付中

出来るだけリアルタイムな情報を会員の皆様へお届けする、メール配信サービス（JPTA HOT NEWS）をご希望の方はJPTAホームページ会員サイトへログインしていただき、下記登録フォームからメールアドレスをご登録をお願いいたします。

※メール配信の利用料は無料ですが、インターネットの利用に伴う通信料は会員様負担となりますのでご了承ください。（配信は不定期となります）

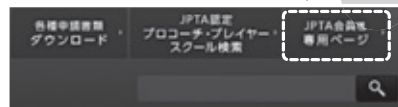
送信者 パソコンの場合
携帯の場合

【公益社団法人 日本プロテニス協会】
【jpta-haishin@jpta.or.jp】

1 JPTA協会ホームページへアクセスください



2【拡大】 JPTA会員様専用ページをクリック



3



4【拡大】 クリック



5 登録アドレスをご入力 いただきご登録ください



ホームページ 会員専用ページ内

MIXI(ミクシィ) JPTA会員専用 コミュニティサイト 登録・申請について

MIXIは身近な友達は勿論、普段は会えない友達や知り合いともコミュニケーションをとることができます。日記を書いたり、共通の趣味や好きな話題のコミュニティに参加して仲間を増やす事も、意見交換もすることが出来ます。

（今回設けましたJPTA会員専用コミュニティは、JPTA会員同士のコミュニケーションツールとなりますのでJPTA会員のみの参加となります）

会員専用サイト JPTA Members Onlyより入り、 登録作業をしてください。（図参照）

MIXIに既に会員登録している方

- ① そのまま「入り口」から入る
- ② ログイン
- ③ 検索からJPTA と入力して検索
- ④ JPTA会員専用コミュニティ（会社・団体）が検索結果として表示
- ⑤ 「このコミュニティに参加」ボタンを押す
- ⑥ コメント欄に会員番号と氏名、コミュニティに参加希望と明記し、参加申請を送信
- ⑦ 協会事務局よりコミュニティの参加承認が返信

MIXIに会員登録をされていない方

- ① 協会事務局代表メールに（jpta-info@jpta.or.jp）へMIXIのコミュニティ参加希望と会員番号と氏名を明記の上、送信。
- ② 協会より、MIXI会員登録の招待状が届く
・・・その後はMIXI画面の説明に従い、登録をしてください。
- ③ 登録後は、左記「MIXIに既に会員登録している方」の①～同じ工程にてお進み下さい。

ホームページ内に設けましたMIXIにご登録をご希望の方は、
下記の手順にてご申請下さい。（こちらの登録、活用は任意です）



すでにmixiの会員の方はそのままお入りください。
まだ会員でない方はこちらまでご連絡ください。
kyokai@jpta.or.jp



JPTAホームページ 会員専用サイト

..... 求人広告掲載受付中

ホームページの会員専用サイトに求人広告を掲載することができます。
ご希望の方は下記項目をメールにてお送りください。

また、年2回の発行となりますJPTANEWSの人材募集コーナー（有料）も併せてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、JPTA事務局までご連絡ください。

求人広告掲載内容詳細

【求人広告掲載事項】

会員専用サイトに掲載される項目です。

- ・ 会社名（クラブ名）
- ・ 勤務地
- ・ 職 種
- ・ 応募資格
- ・ 待 遇
- ・ 問合せ先（担当者名含む）

【掲載期間】 1か月

掲載の延期または期間内の掲載取り下げの際はお申し出ください。掲載はご申請頂いた日から作業の都合上、3日～5日のお時間を要する場合がありますのでご了承ください。

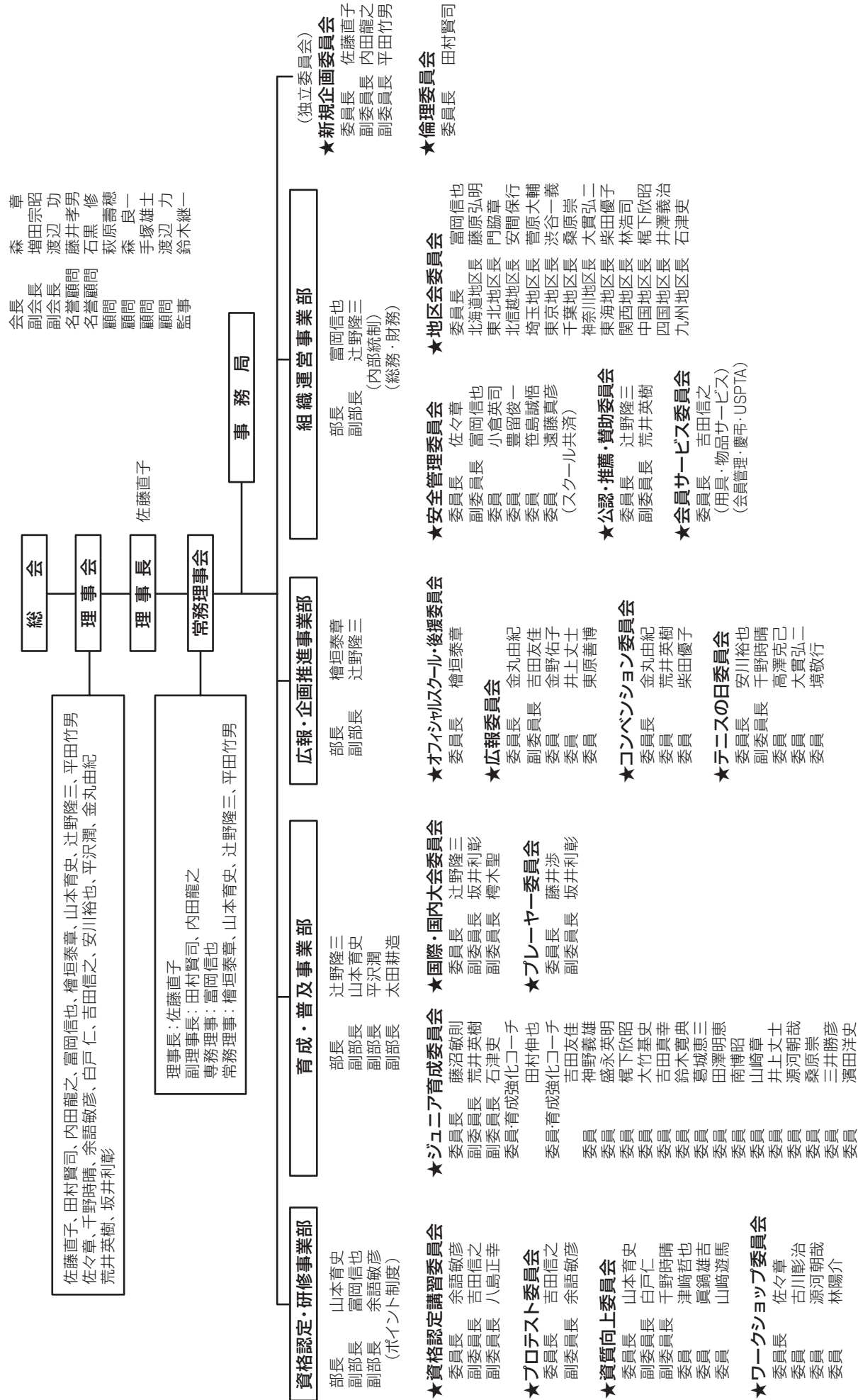
【掲載料】 無料

（当方は無料で掲載となります）

《 原稿送信・問合せ先 》 広報委員会 事務局担当まで e-mail : jpta-info@jpta.or.jp

メールの件名に「会員専用サイト求人掲載」とご入力ください。尚、原稿はお送り頂く前に、ご一報を頂けると幸いです。宜しくお願い致します。

公益社団法人日本プロテニス協会 平成25・26年度 JPTA役員・組織図



● JPTA 公認企業・公認商品

積極的に利用し、生徒さん等関係者におすすめください。

ラケット	----- Prince	----- グロープライド株式会社
ウェア	----- YONEX	----- ヨネックス株式会社
ボール	----- BRIDGESTONE	----- ブリヂストンスポーツ株式会社
ストリングス	----- GOSEN	----- 株式会社ゴーセン

● JPTA 推薦企業

大塚ターフテック株式会社

● JPTA 賛助企業

JPTA は下記の企業の賛助を受けています。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | ・有限会社リックスコミュニケーションズ |
| ・株式会社ダンロップスポーツマーケティング | ・株式会社ゴールドウイン |
| ・株式会社ヤマハリゾート (つま恋) | ・株式会社ナイキジャパン |
| ・東京ウエルネス株式会社 | ・ミズノ株式会社 |
| | ・スポーツサーフェス株式会社 |

● 編集後記 ●

これから2年間、引き続きJPTA NEWS の作成・編集を担当させて頂くことになりました！

今号は「時の人」のインタビュー役を北海道地区・前地区長の佐藤さんをお願いしたり、USPTA前CEOティム・ヘックラー氏の追悼ページを作成するにあたり、大先輩方にお話を伺ったりと、取材・原稿作成・編集とにもとてもアクティブでした。

また、技術論・指導論も、執筆して下さった中山さん、高橋さんのご協力で、今回も充実した内容でお届けできたことに感謝！です。

この時代、当誌もちろん、電子化を視野に入れ検討に入っていますが、この冊子が皆様のお手元に届き、読んで下さることを楽しみに、しばらくの間は年2回お届けする予定です。どしどしご意見をお聞かせくださいね！

編集長：金丸 由紀

編集後記の最後までご覧いただきありがとうございます。

今回も多くの方々にご協力いただき“JPTANEWS”が無事完成いたしました。

毎回、突然のお願いにも関わらず、会員の皆様には快く執筆いただき本当に感謝しております。次号もご執筆のご協力を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

また、配信メールのご登録を随時受け付けております。是非、皆様ご登録ください。

米津 瑠美